

資料編

第2期おおむら子ども・子育て支援プラン



1 子育て世代アンケート結果(全体)

[子ども・子育て支援プラン策定に係るアンケート調査(就学前児童)概要]

実施期間:平成30年11月30日～平成30年12月21日

対 象:0～6歳までの子どもがいる世帯(平成30年3月31日現在)1,000世帯

抽出方法:住民基本台帳を用いた無作為抽出

実施方法:郵送による配布。郵送、持参による回収。

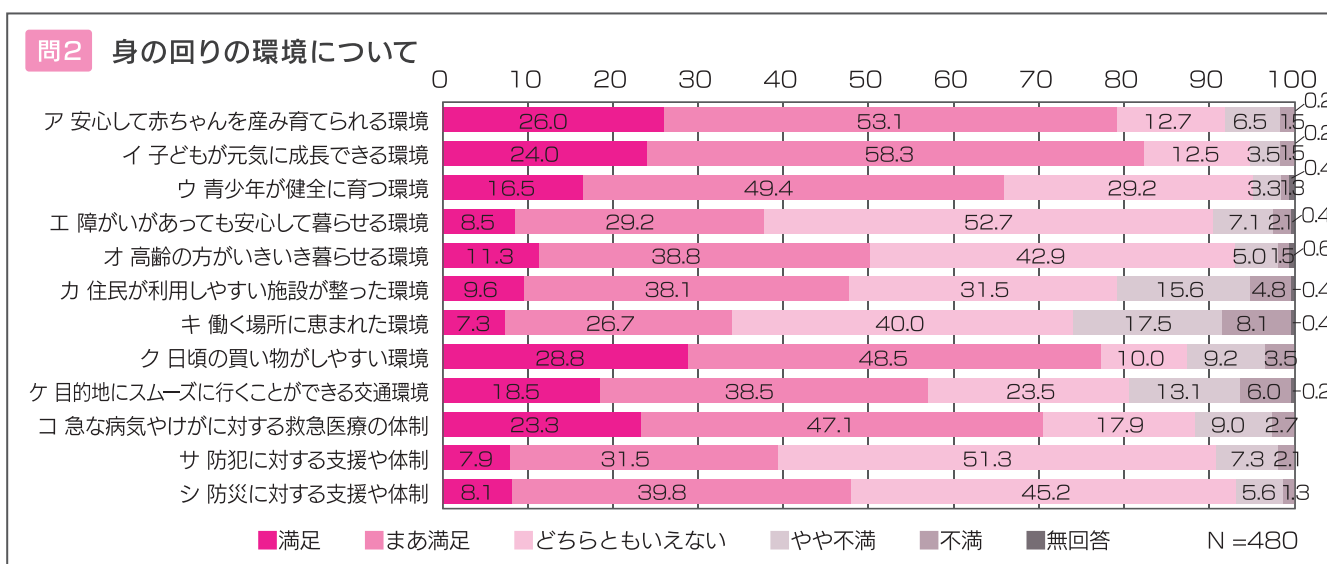
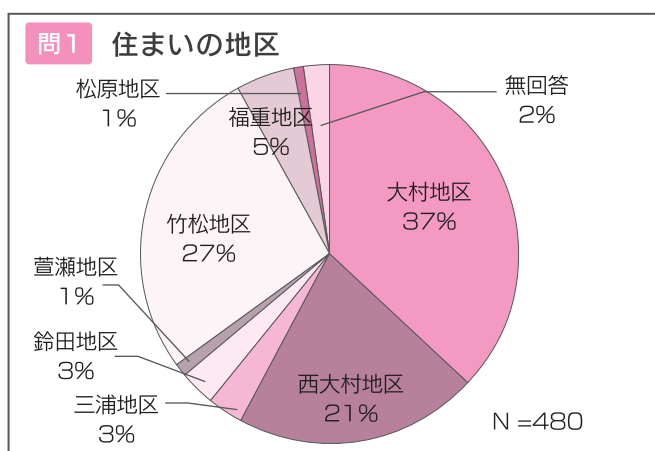
回収率:48.0% 回収数:480件

就学前児童調査結果

1 住まいの状況について

【概況】

・身の回りの環境について、子育てに関する項目は満足度が高かったが、障がいがあっても安心して暮らせる環境や働く場所に恵まれた環境等の項目が満足度が低い結果となった。

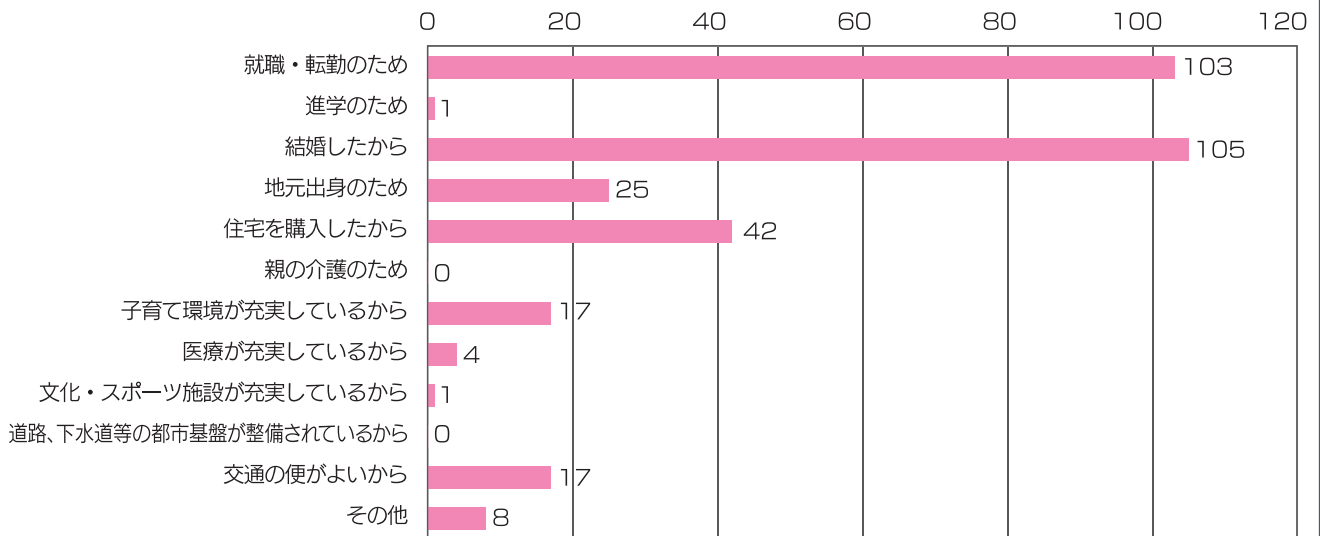


2 市外からの転入について

【概況】

・転入した理由として、一番多い回答は「結婚したから」の105人（18.6%）、次いで「就職・転勤のため」の103人（18.2%）であった。

問3 大村市に転入した理由

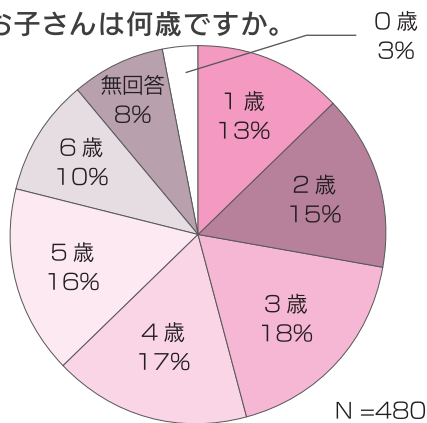


3 家族の状況について

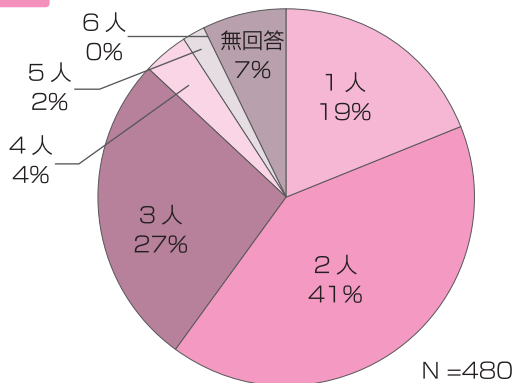
【概況】

・子どもの数は「2人」が41%と最も多く、次いで「3人」、「1人」となっている。また、ひとり親家庭は6%であった。

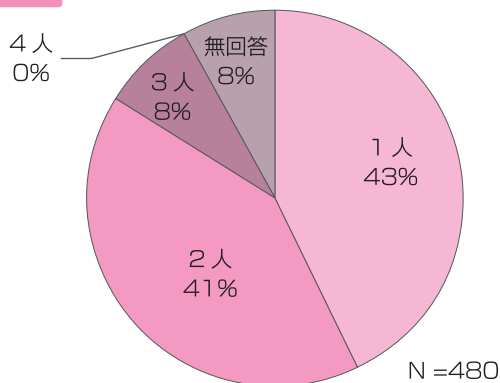
問4 お子さんは何歳ですか。



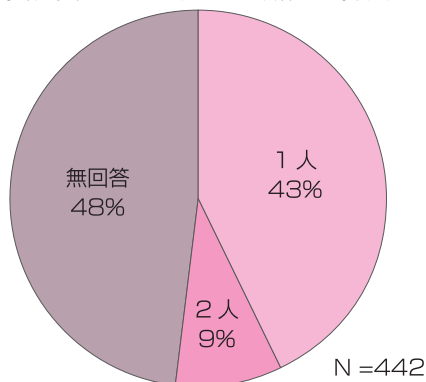
問5 お子さんは何人いますか。



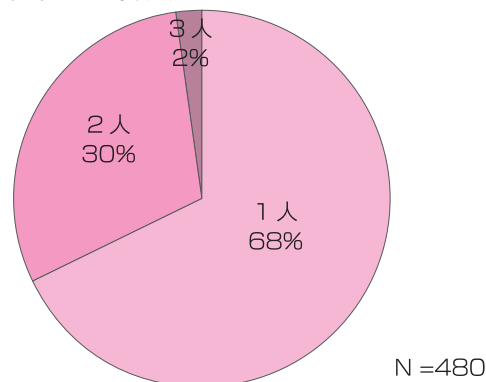
問5-1 未就学児は何人いますか。



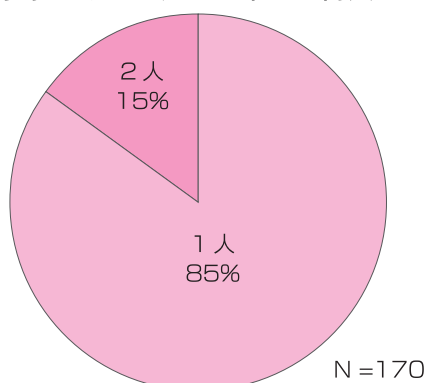
問5-2 未就学児のうち、0～2歳児は何人いますか。



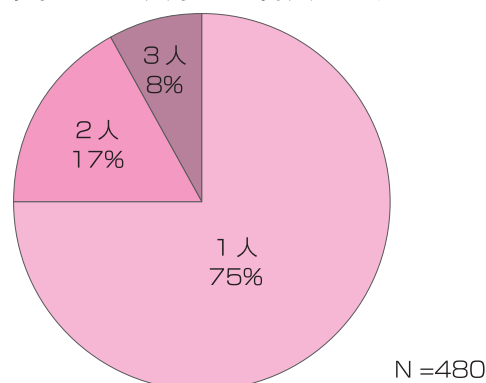
問5-3 小学生は何人いますか。



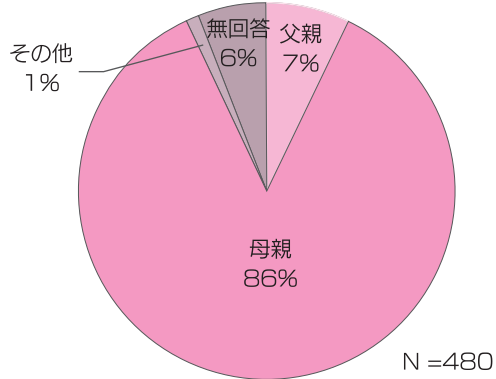
問5-4 小学生のうち、1～3年生は何人いますか。



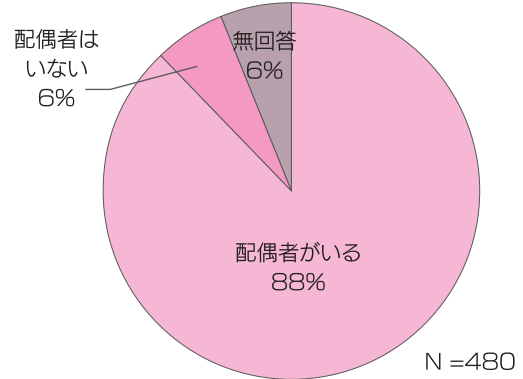
問5-5 中学生から大学生は何人いますか。



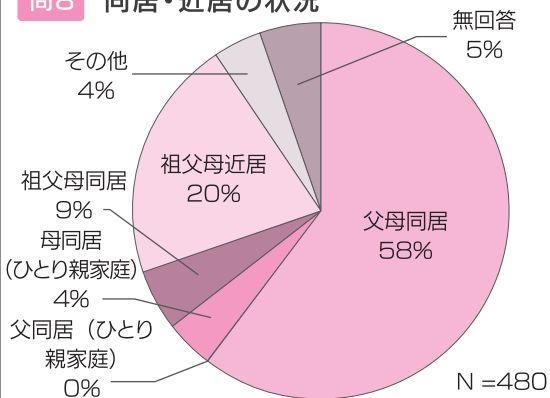
問6 調査票の回答者



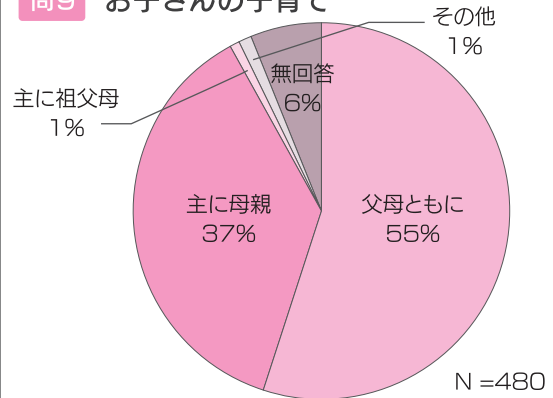
問7 回答者の配偶関係



問8 同居・近居の状況



問9 お子さんの子育て

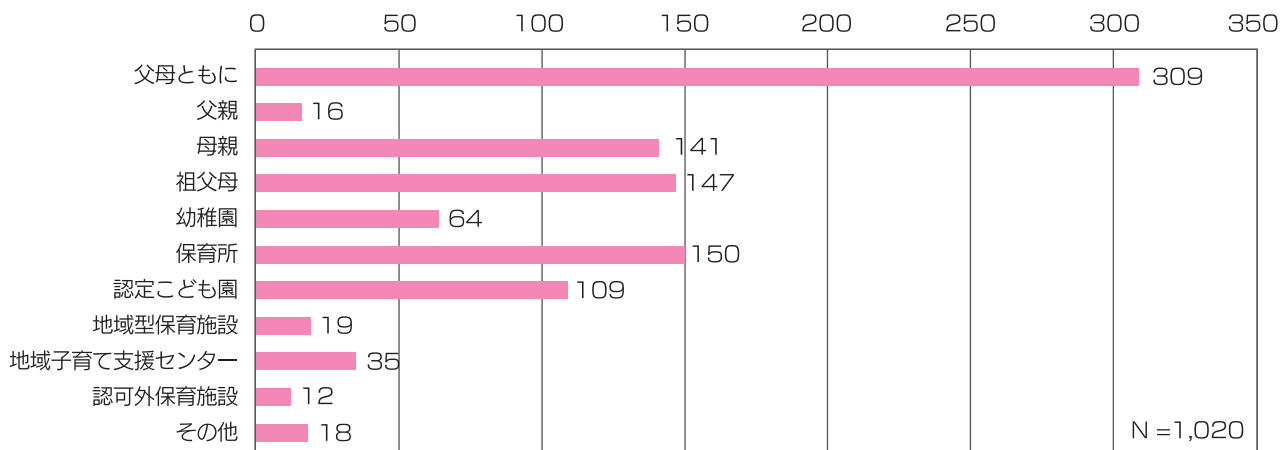


4 子どもの育ちをめぐる環境について

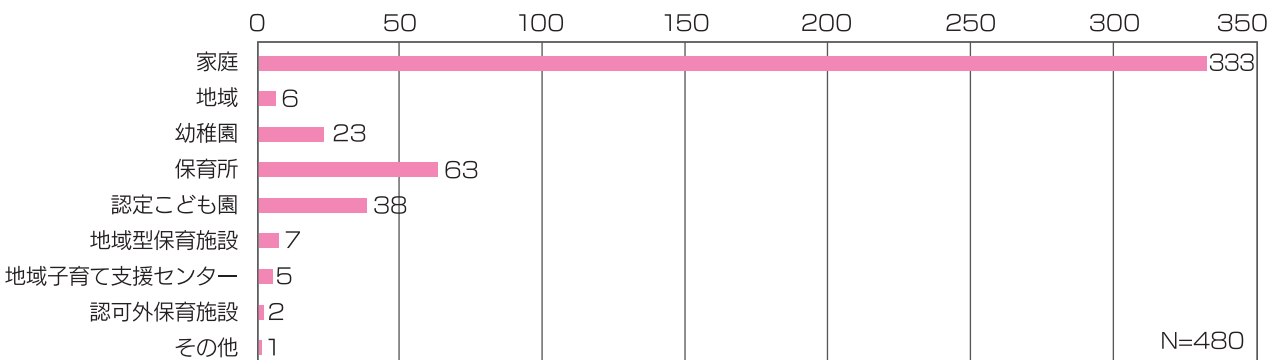
【概況】

- ・子育てに最も影響が大きいのは「家庭」と考えている人が69.4%と非常に高かった。
- ・日常的又は緊急時にいずれも子どもをみてもらえる環境がないという人が60人（12.5%）いた。
- ・子育ての相談先は、「配偶者」や「親や兄弟姉妹」が圧倒的に多く、次いで、「友人・知人」や「保育士・保育教諭」等の順となった。

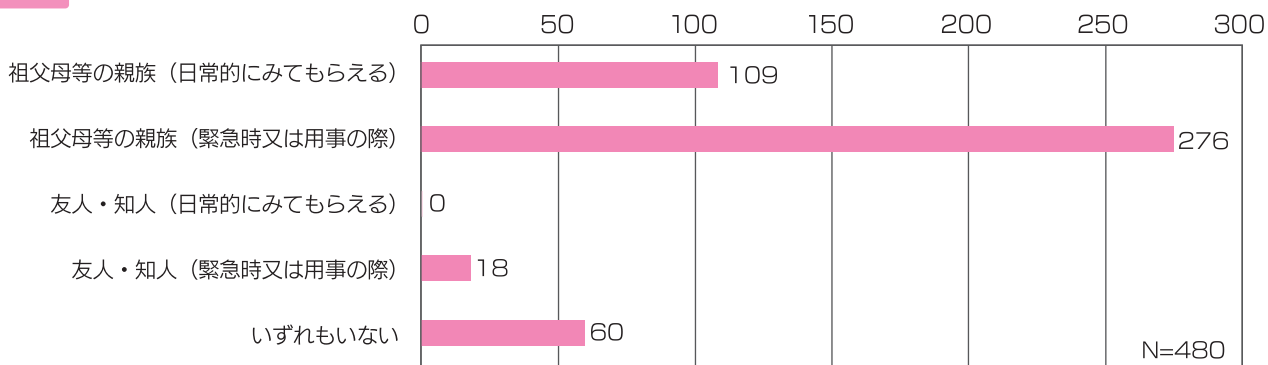
問10 子育てに日常的に関わっている方



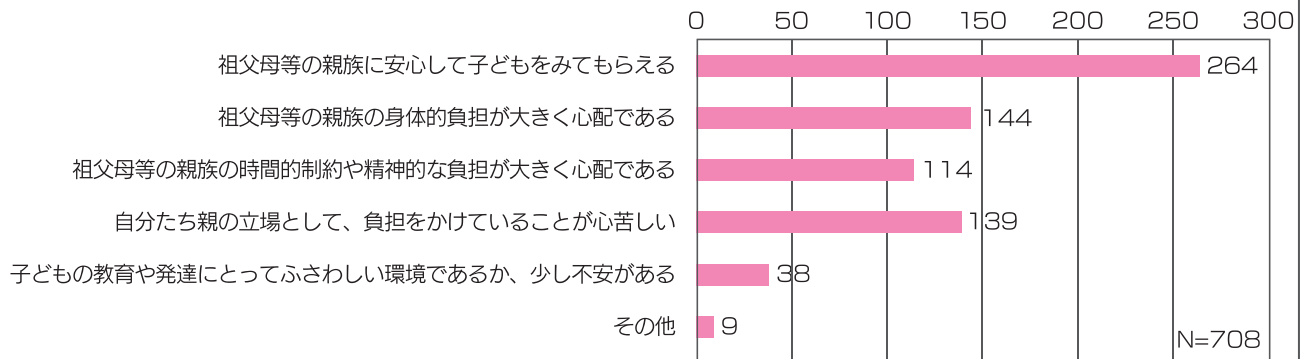
問11 子育てにもっとも影響すると思われる環境



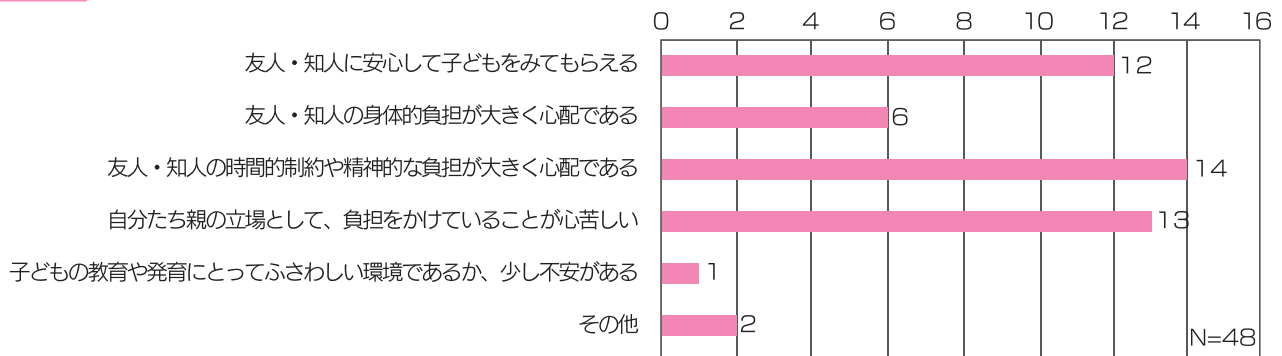
問12 子をみてもらえる人



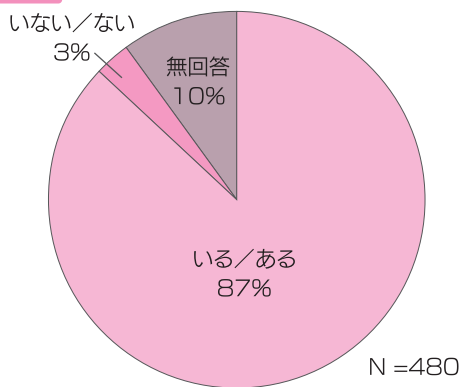
問12-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらうときの気持ち



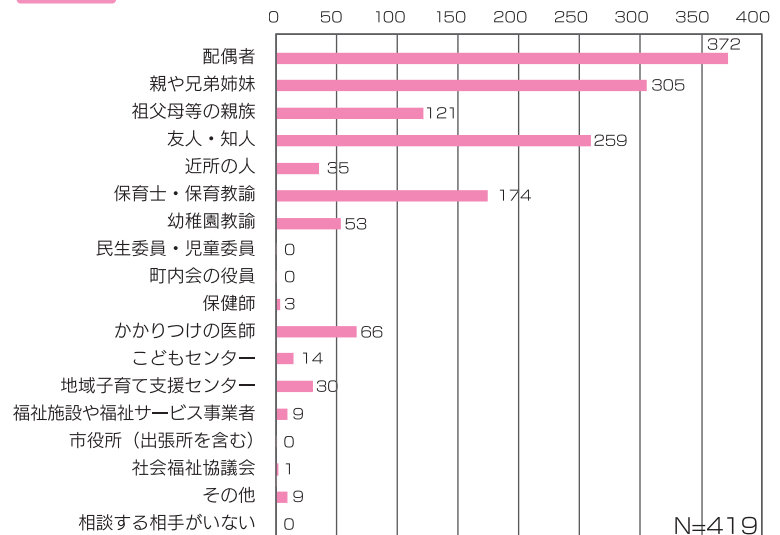
問12-2 友人・知人にお子さんをみてもらうときの気持ち



問13 子育ての相談者、場所



問13-1 子育ての相談ができる先



問13-2 子育てをする上で、必要な周囲からのサポートについて ※自由意見を一部抜粋しています。

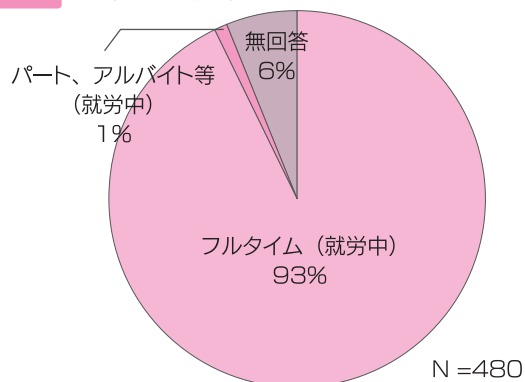
- ・保育園や幼稚園の送り迎えの協力がほしい。
- ・放課後児童クラブが小学校の近くにあったらよいと思う。
- ・育児に関する母親のケアをしてくれる環境がほしい。
- ・身近に相談相手がない人が相談しやすい環境などがあればよいと思う。
- ・ネットなどで気軽に相談できればありがたい。
- ・イベントなどのお知らせを市政だより以外でもっと知らせてほしい。

5 保護者の就労状況について

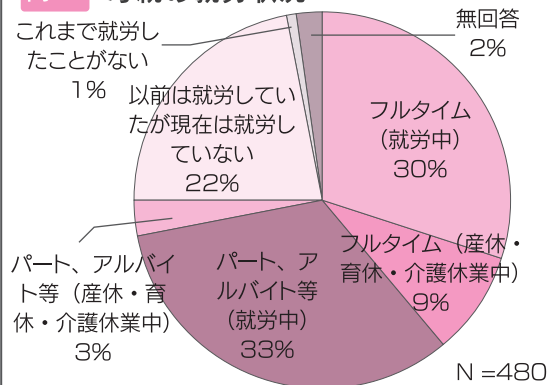
【概況】

- ・「フルタイム」で就労している父親は93%、母親は39%（産休等含む）であった。
- ・また、母親の「パート・アルバイト等」の就労は36%（産休等含む）となっているが、就労していない人も22%いた。
- ・1週間当たりの勤務日数は、「フルタイム」、「パート・アルバイト等」ともに5日が最も多く、次いで6日となった。
- ・1日の勤務時間は、「フルタイム」で8時間が最も多く、次いで、10時間、9時間の順となった。「パート・アルバイト等」では、6時間が最も多く、次いで、5時間、7時間の順となった。
- ・母親のフルタイム就労への転換希望については、現状のままが一番多かったが、見込みのあるなしに関係なく、フルタイムへの転換希望も多かった。また、子育てを優先した生活を望んでいるが、現実には仕事を優先しているという結果となった。

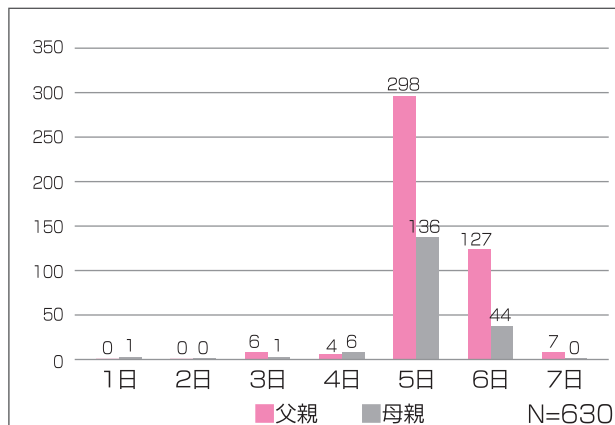
問14 父親の就労状況



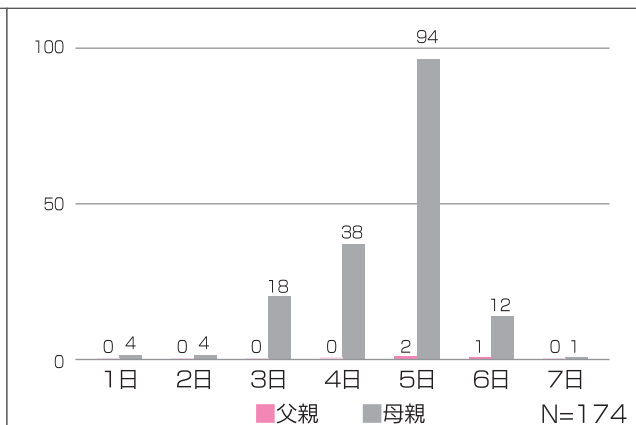
問14 母親の就労状況



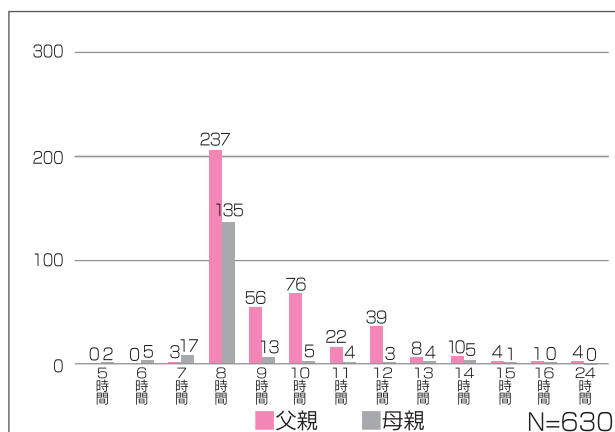
問14 1週当たりの勤務日(フルタイム)



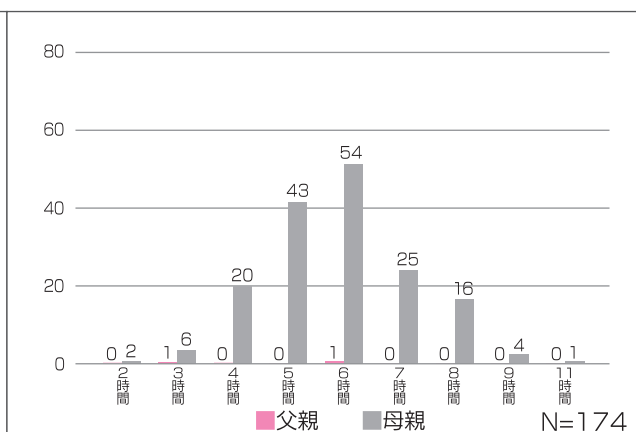
問14 1週当たりの勤務日(パート・アルバイト等)



問14 1週当たりの勤務時間(フルタイム)

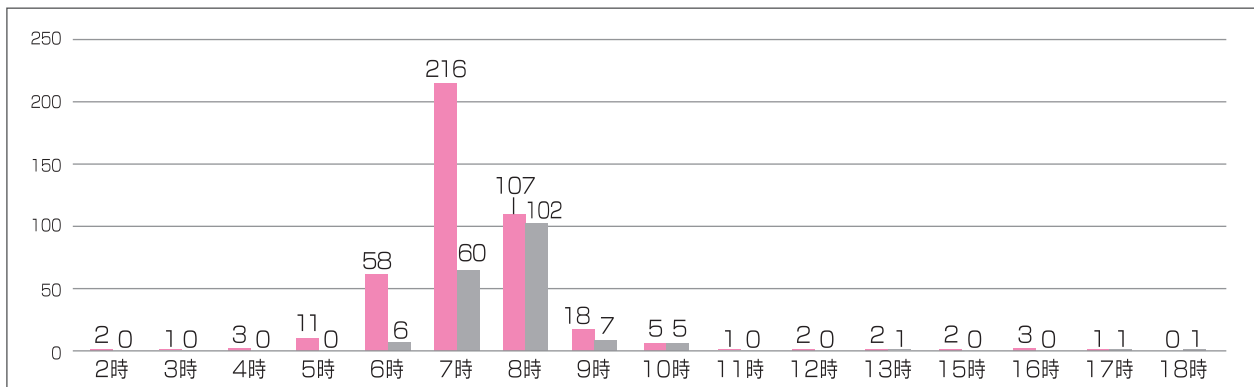


問14 1日当たりの勤務時間(パート・アルバイト等)



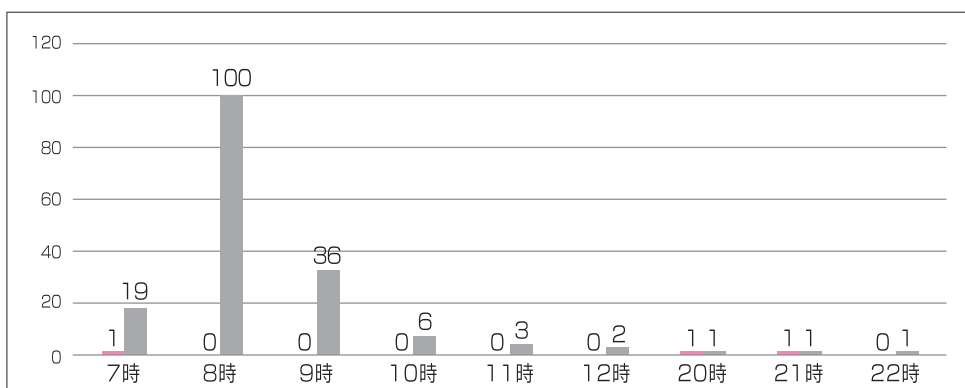
問14 家を出る時間(フルタイム)

■父親 ■母親 N=630



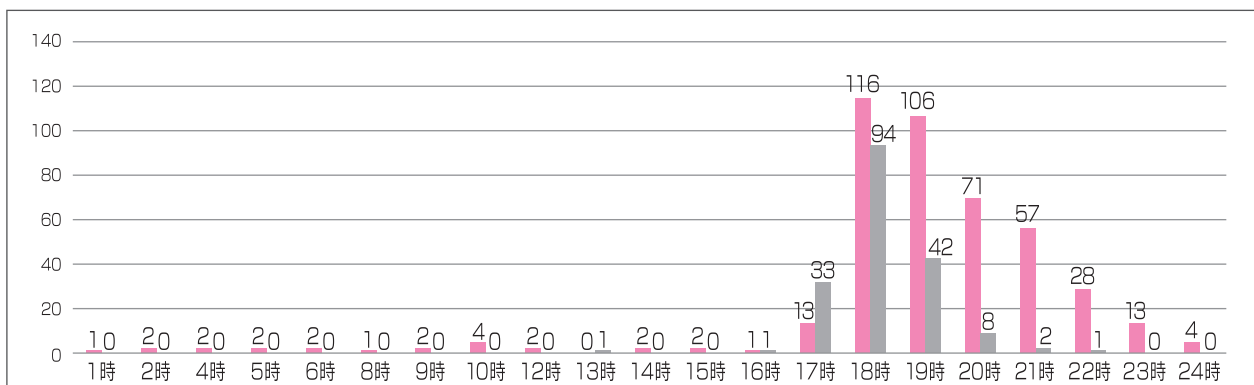
問14 家を出る時間(パート・アルバイト等)

■父親 ■母親 N=174



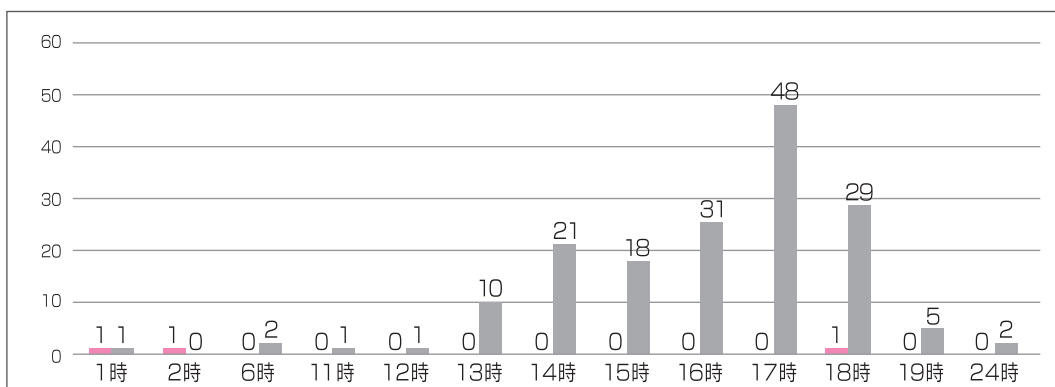
問14 帰宅時間(フルタイム)

■父親 ■母親 N=630

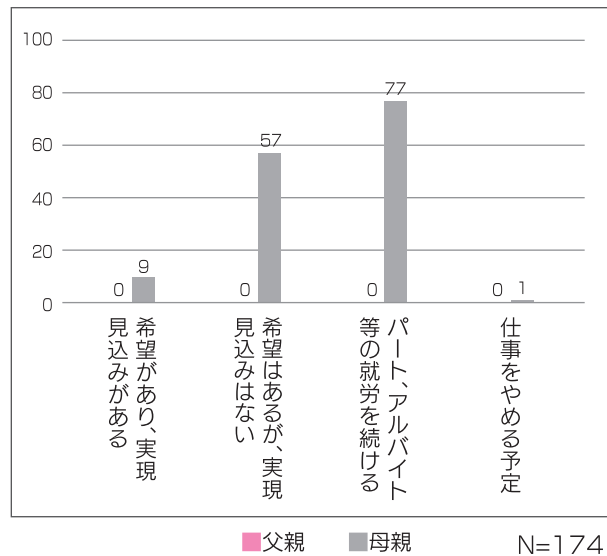


問14 帰宅時間(パート・アルバイト等)

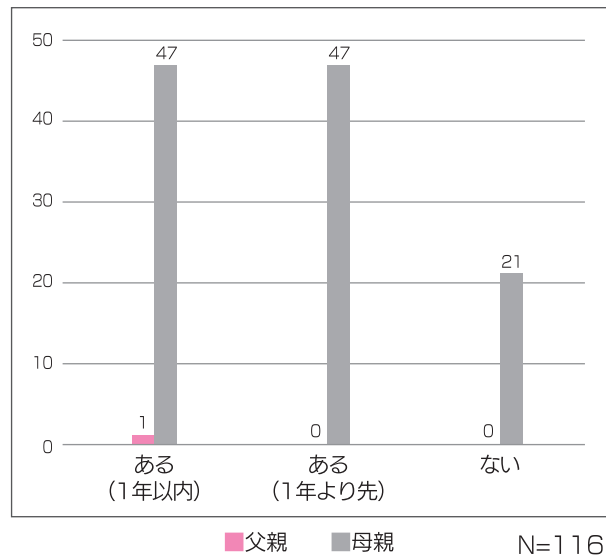
■父親 ■母親 N=174



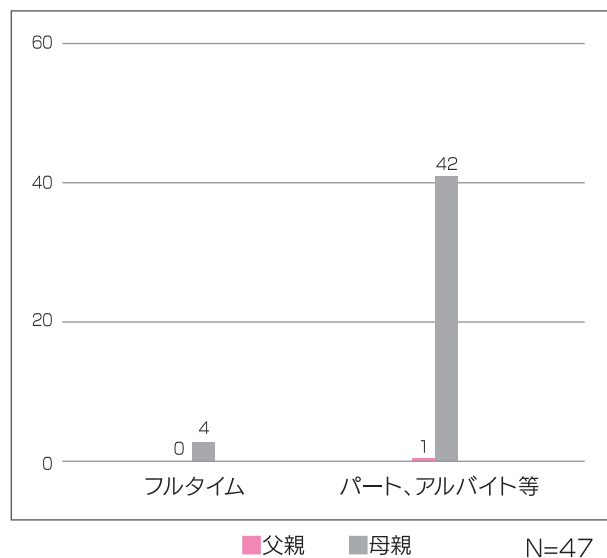
問14 パート・アルバイト等の方でフルタイムへの転換希望



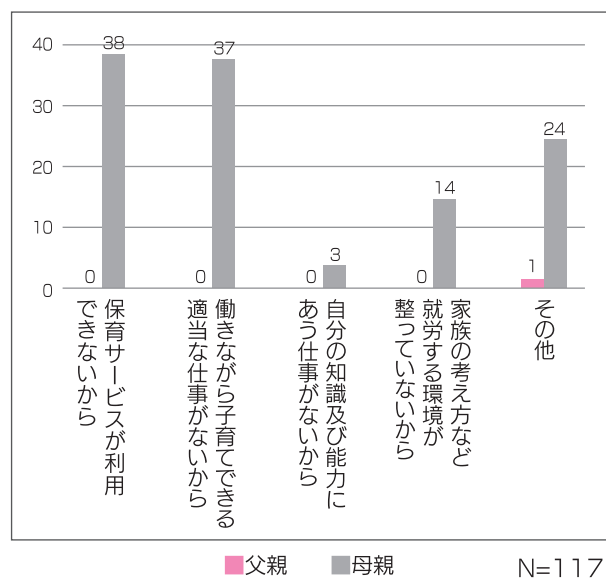
問14 現在、就労していない、今まで就労したことがない人の就労希望



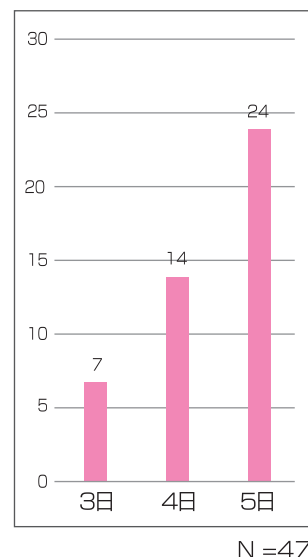
問14 1年以内に就労希望がある人の希望する就労形態



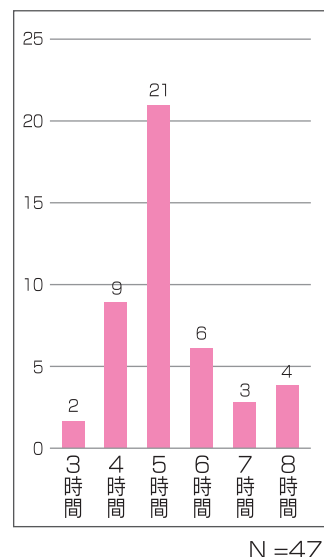
問14 就労希望がある人の働いていない理由



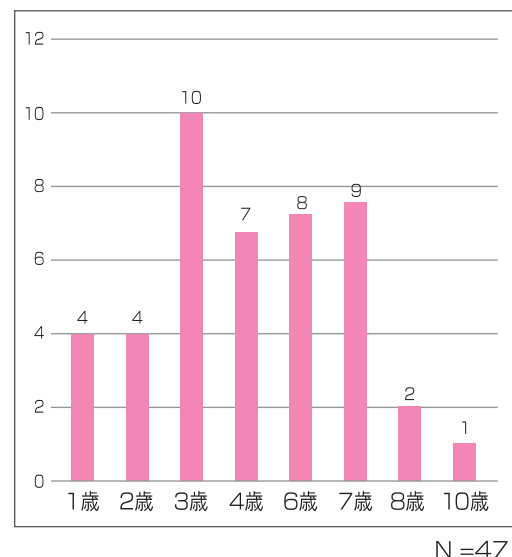
問14 就労希望する1週間の勤務日



問14 就労希望する勤務時間

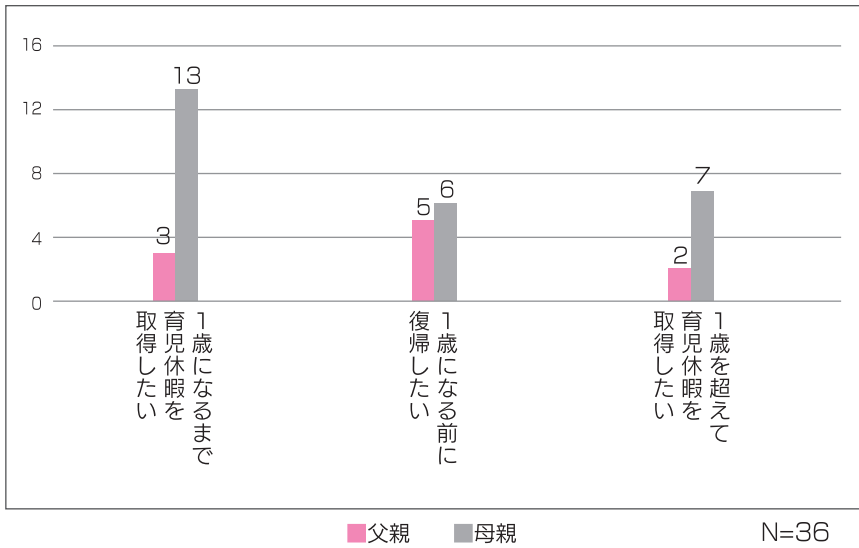


問14 就労開始を希望する子どもの年齢

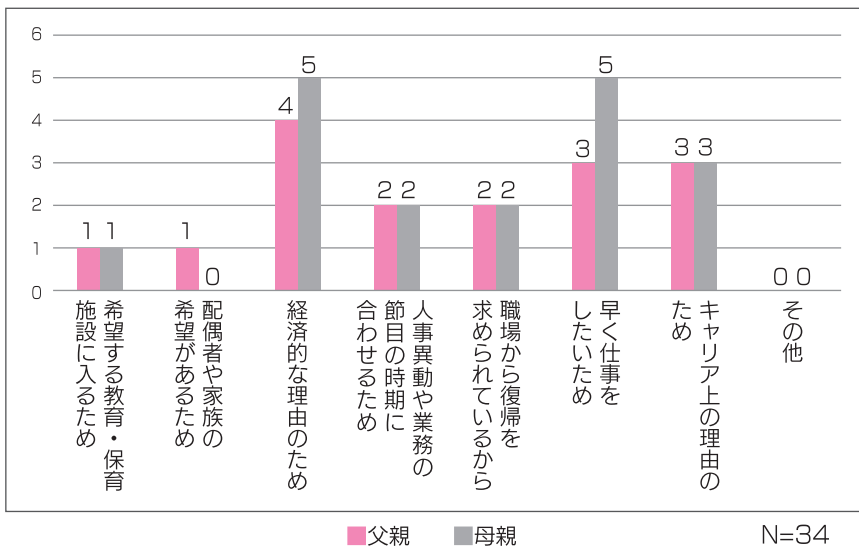


子どもが0歳で育休中の方

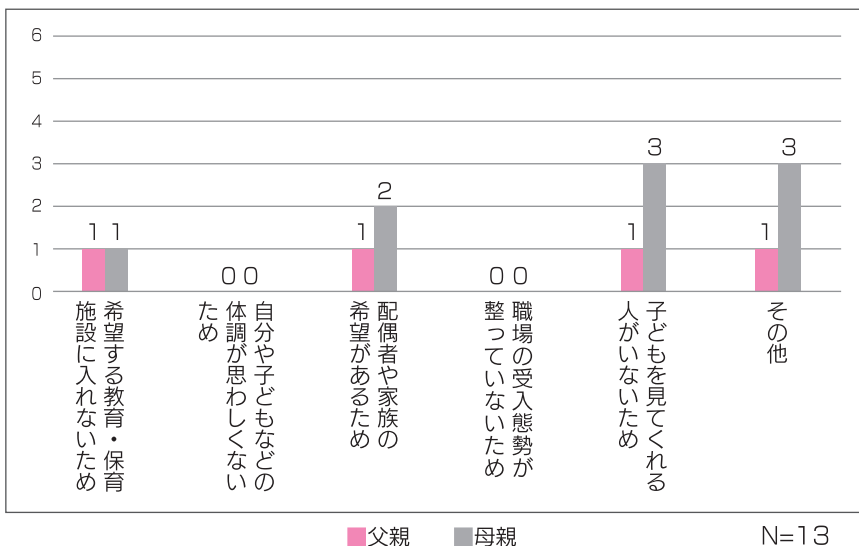
問14-1 育児休暇の取得希望



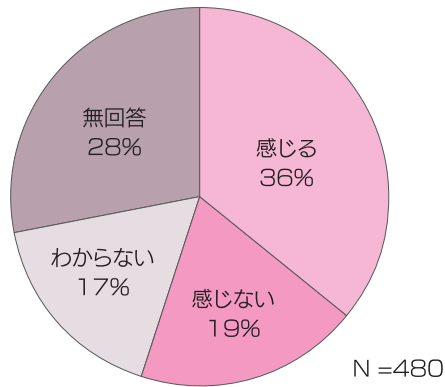
問14-2 1歳になるまでに復帰したい理由



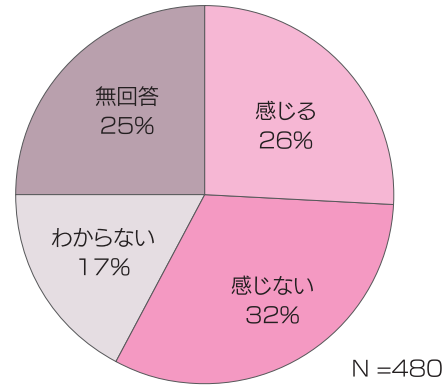
問14-3 1歳を超えて育児休暇を取得したい理由



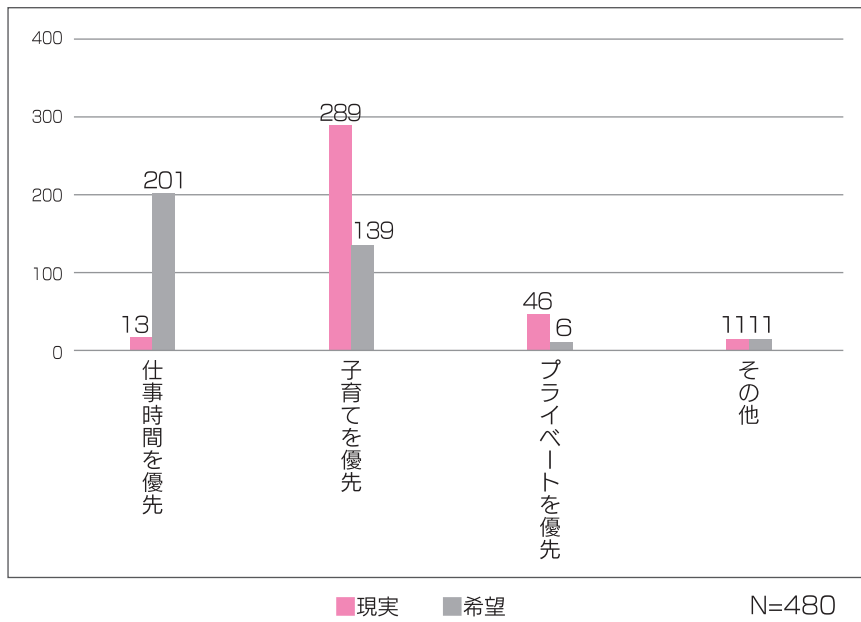
問15 仕事と生活の両立が図られていると感じるか



問16 子どもとの時間が十分取れていると感じるか



問17 生活における優先度



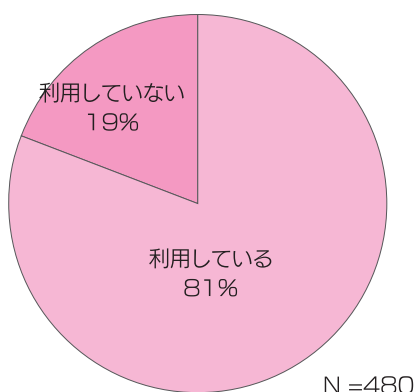
6

平日の定期的な教育・保育サービスの利用状況について

【概況】

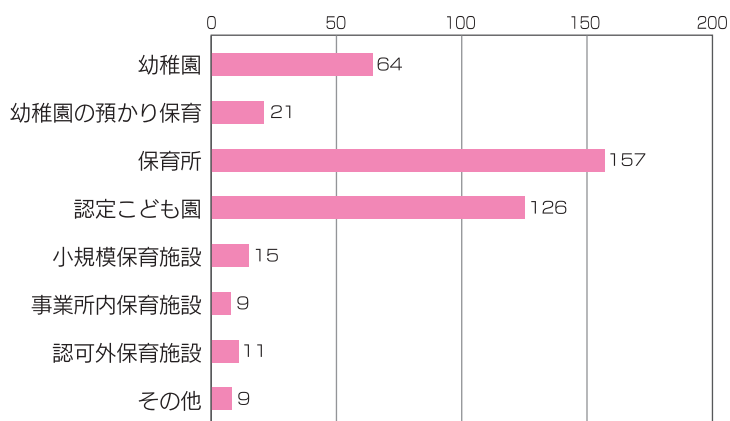
- ・全体の81%が保育園や認定こども園等の定期的なサービスを利用しており、1週当たり5~6日、1日当たり8~10時間、5~6時間の利用が多かった。
- ・サービスを利用する主な理由は、「保護者の就労」及び「子どもの教育や発達のため」となっている。また、サービスを利用していない家庭は、保護者や親族がみているところが多かったが、サービスに空きがない又は経済的な理由等もあった。
- ・利用したいサービスについて現状と比較すると、保育園や認定こども園の希望が多いことがわかる。

問18 定期的な教育・保育サービスの利用

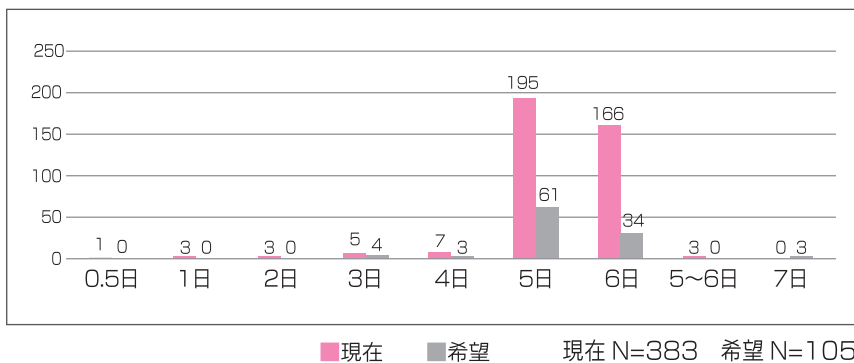


問18-1 平日の教育・保育サービスの利用

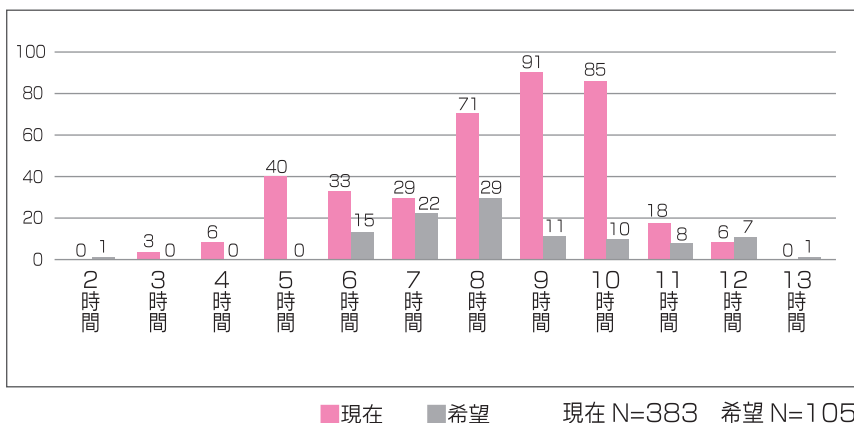
N=412



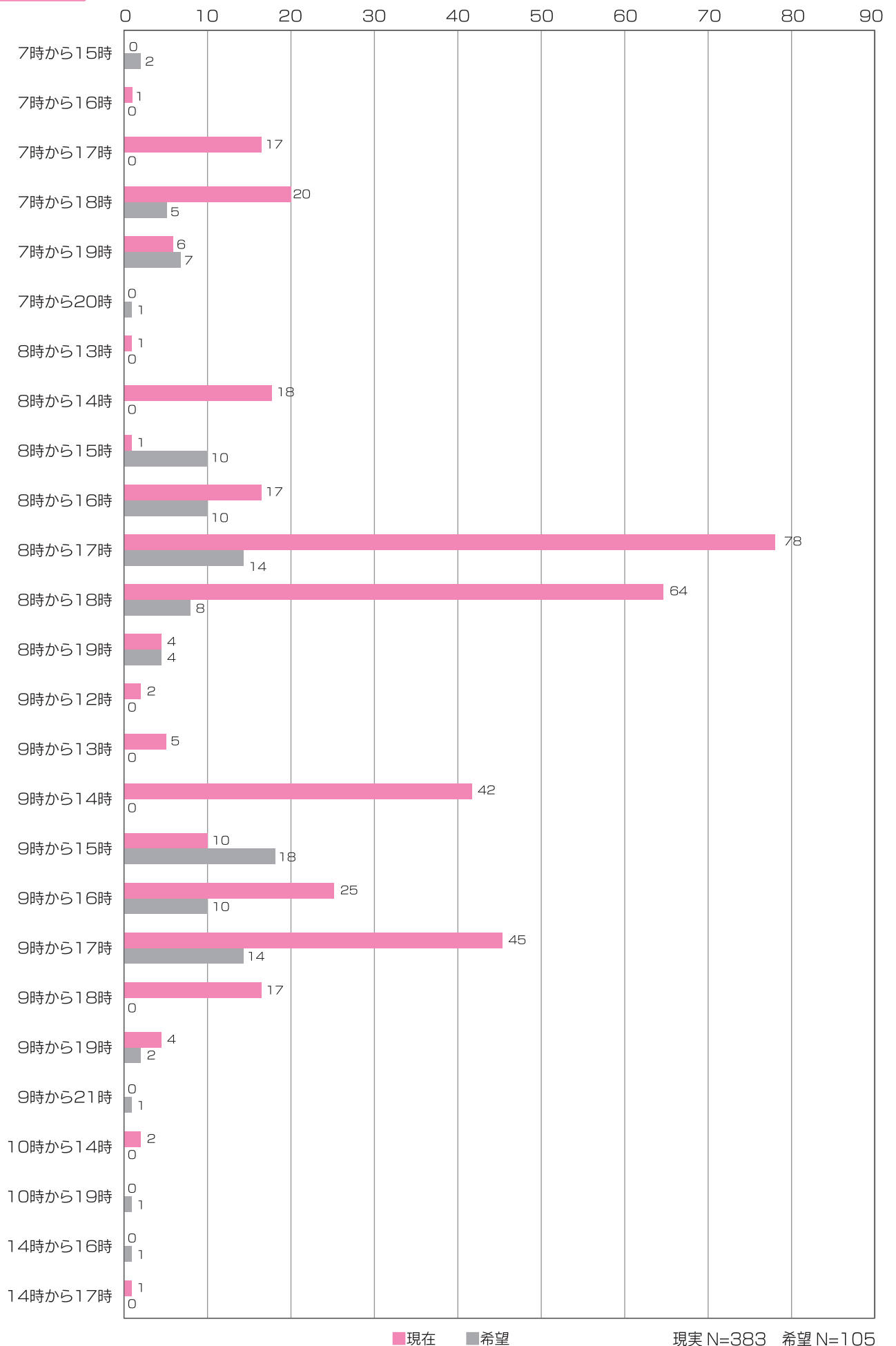
問18-2 1週当たりの利用日数



問18-2 1日当たりの利用時間



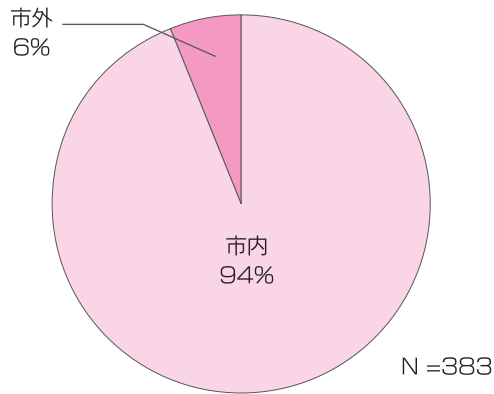
問18-2 1日当たりの利用時間帯



■現在 ■希望

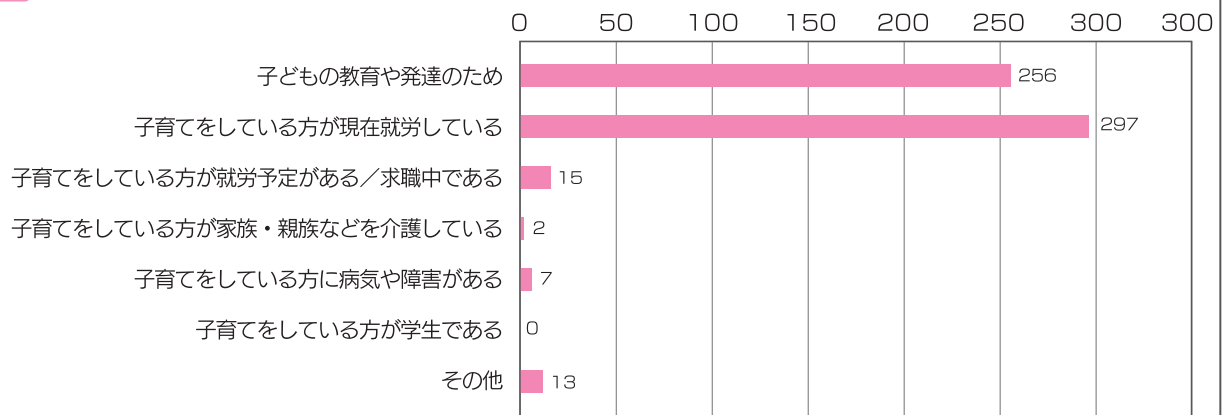
現実 N=383 希望 N=105

問18-3 教育・保育サービスの実施場所



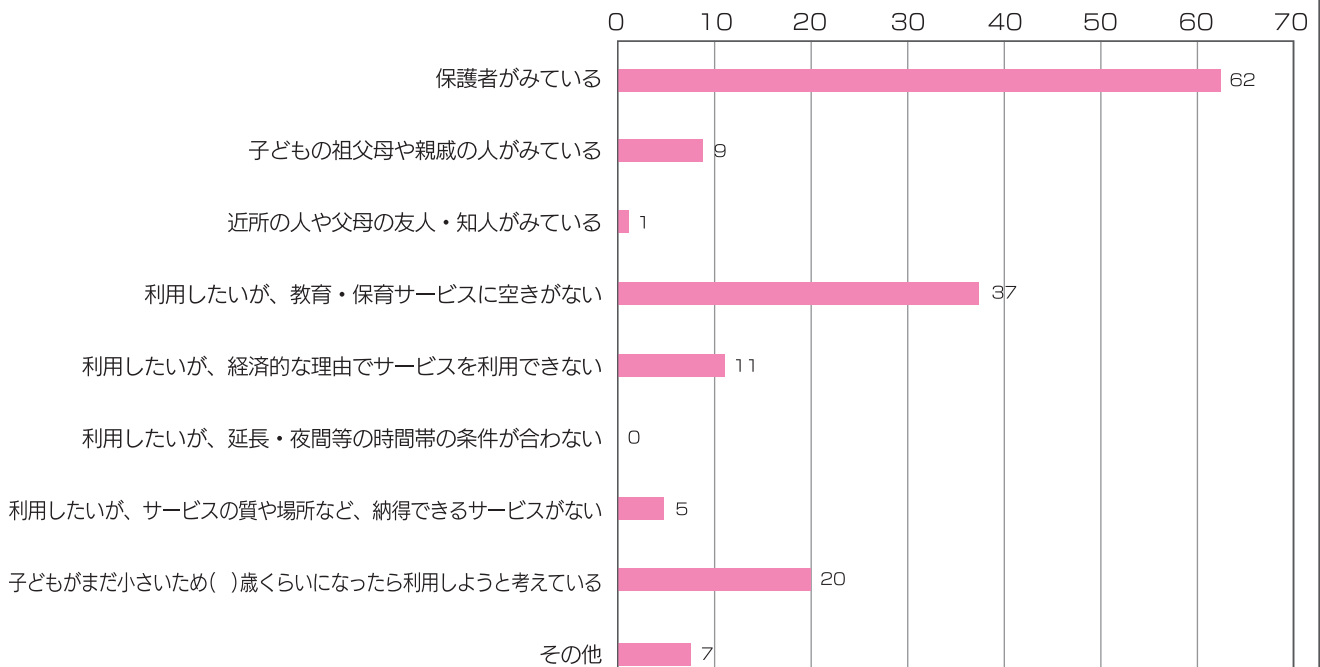
問18-4 平日に定期的な教育・保育サービスを利用されている理由

N=590



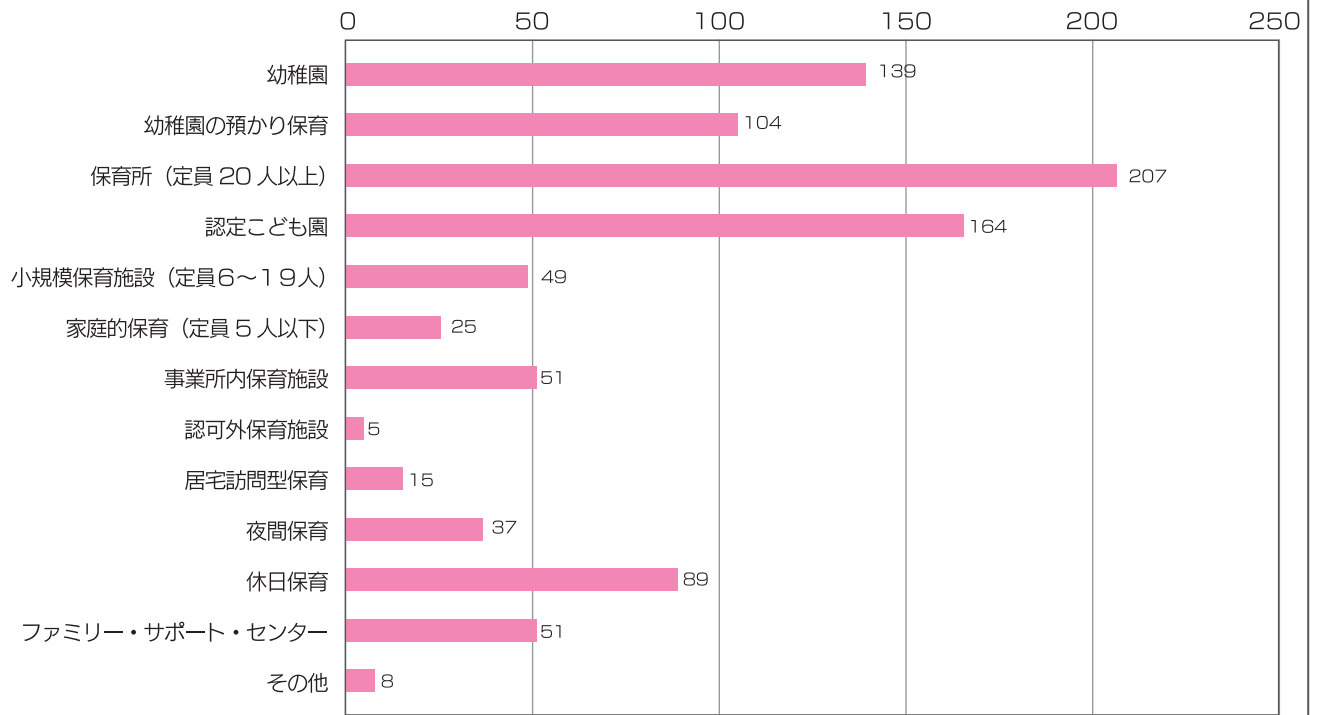
問18-5 利用していない理由

N=152

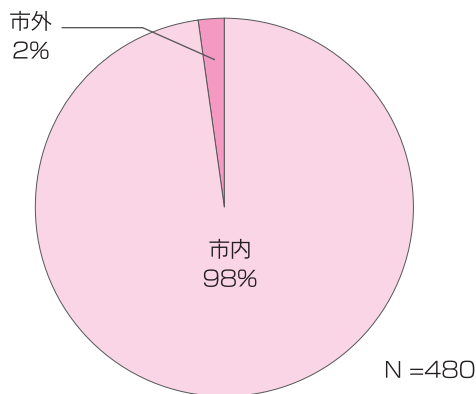


問19 利用したいサービス

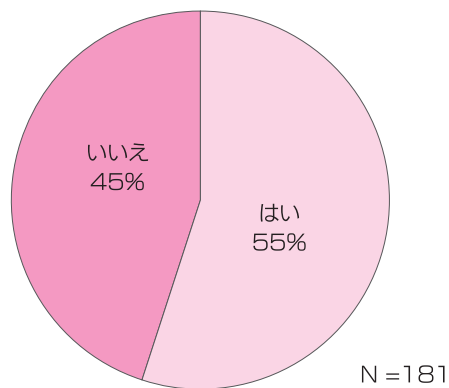
N=944



問19-1 利用したい場所



問19-2 幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む。）の利用を強く希望するか。



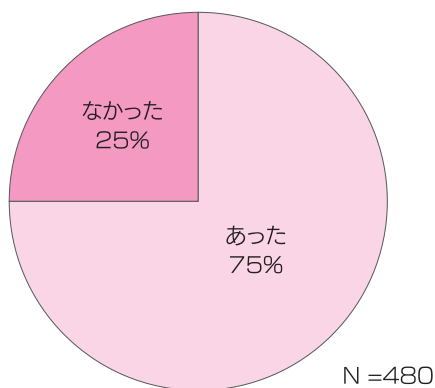
7

病気の際の対応について(平日の教育・保育を利用する方のみ)

【概況】

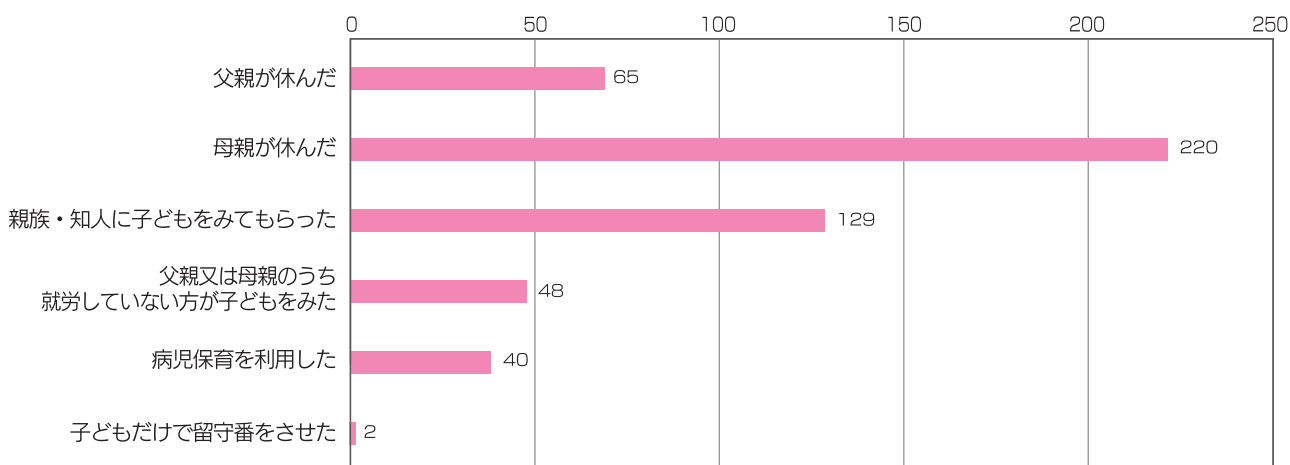
- ・病気やケガで保育・教育・保育サービスを利用できなかったとした人が75%あり、その多くが、保護者が仕事を休むか親族等にみてもらっている。
- ・病児保育サービスについては、家族で看たい又は、利用料がかかるため利用しないという人が多かった。

問20 病気やけがで定期的な教育・保育サービスが利用できなかったこと



問20-1 教育・保育サービスが利用できなかった場合の対処方法

N = 504



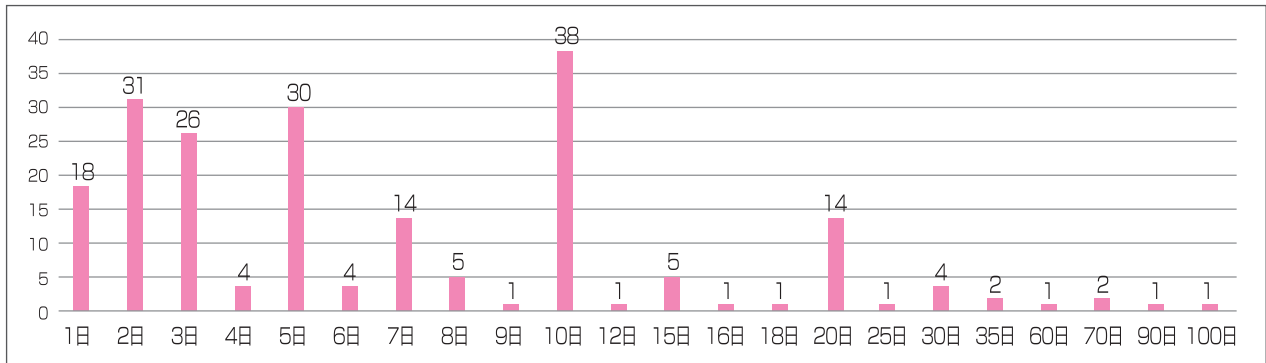
問20-1 父親が休んだ日数

N = 61



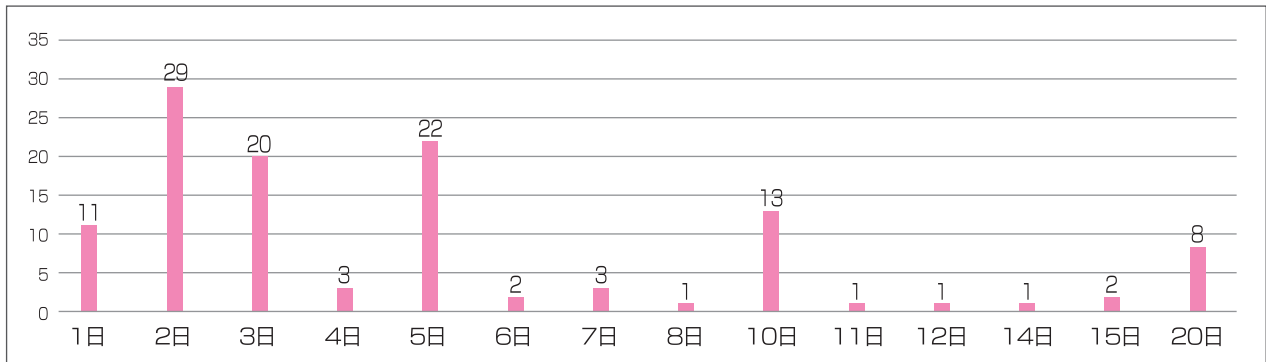
問20-1 母親が休んだ日数

N=205



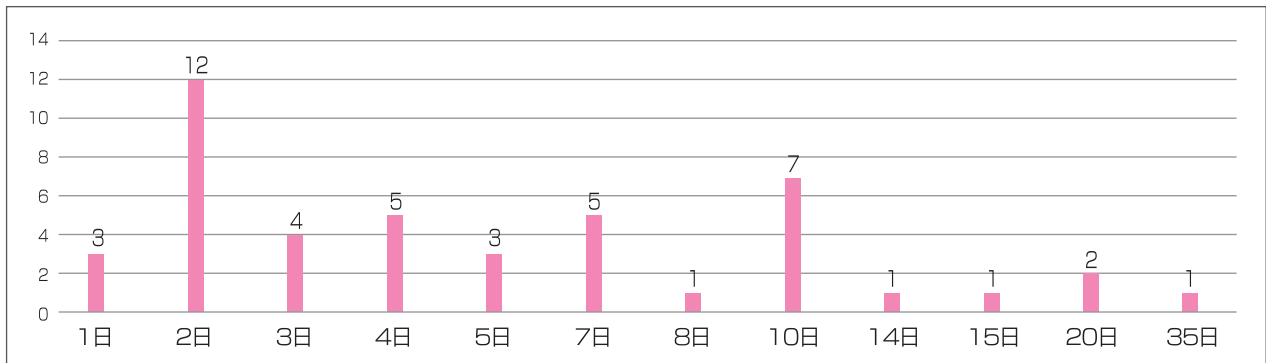
問20-1 親族・知人にみてもらった日数

N=117



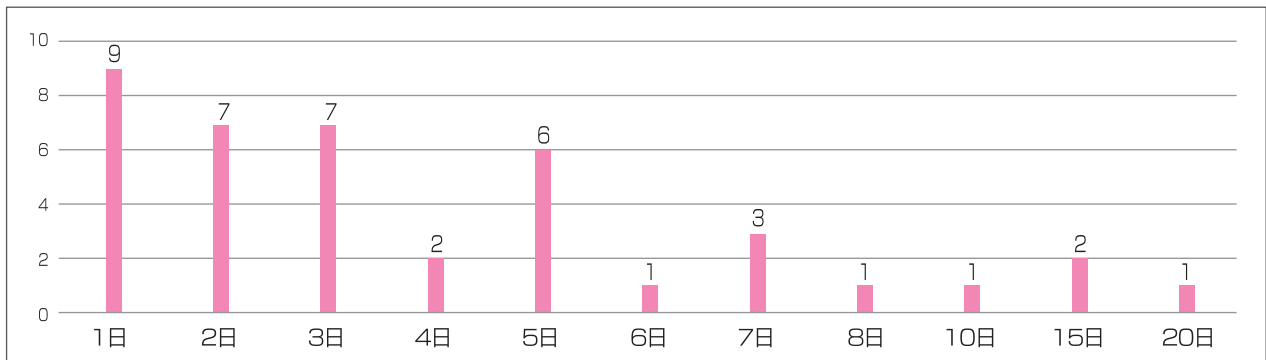
問20-1 就労していない方がみた日数

N=45

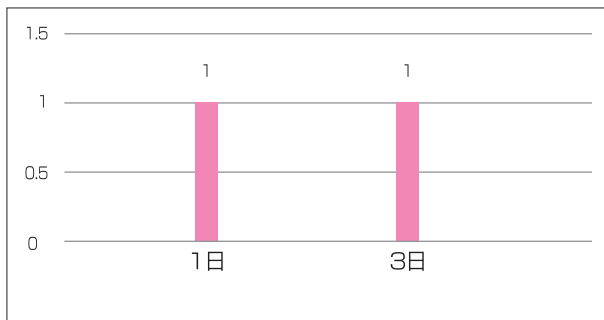


問20-1 病児保育を利用した日

N=40

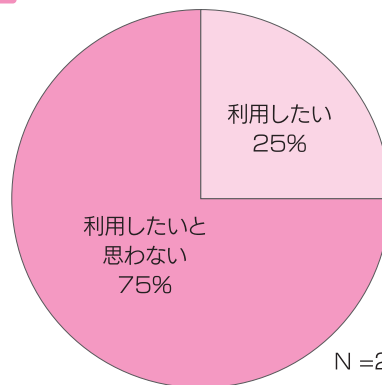


問20-1 子どもだけで留守番させた日数



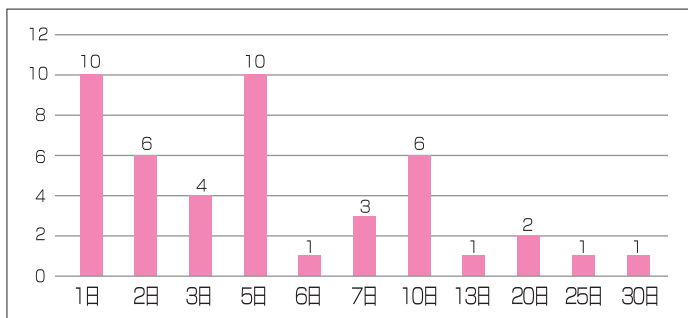
N=2

問20-1 病児保育を利用したいと思うか



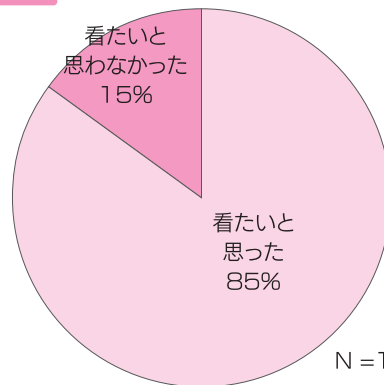
N=223

問20-1 病児保育の利用希望日数



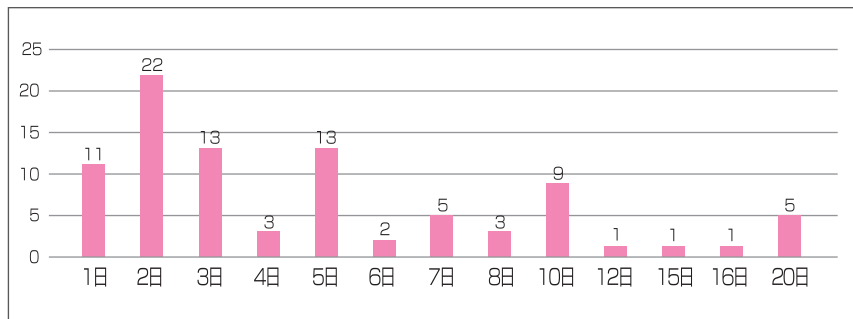
N=45

問20-1 父母のいずれかが仕事を休んで看たいか



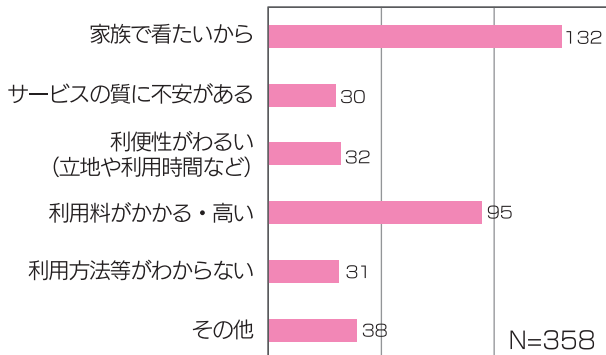
N=147

問20-1 何日看たいと思ったか



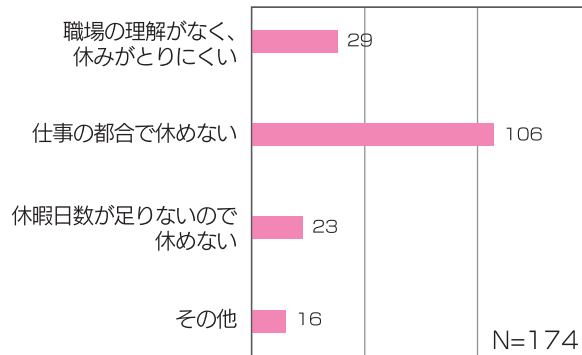
N=89

問20-1 病児保育を利用したいと思わない理由



N=358

問20-1 仕事を休んで子どもを看ることができなかった理由



N=174

8

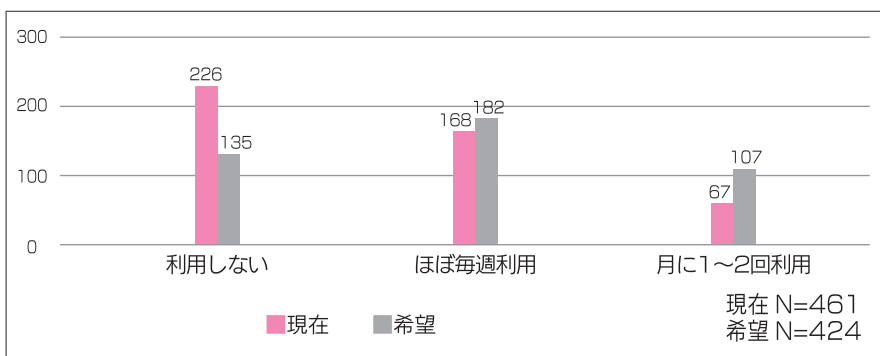
土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育サービスの利用について

【概況】

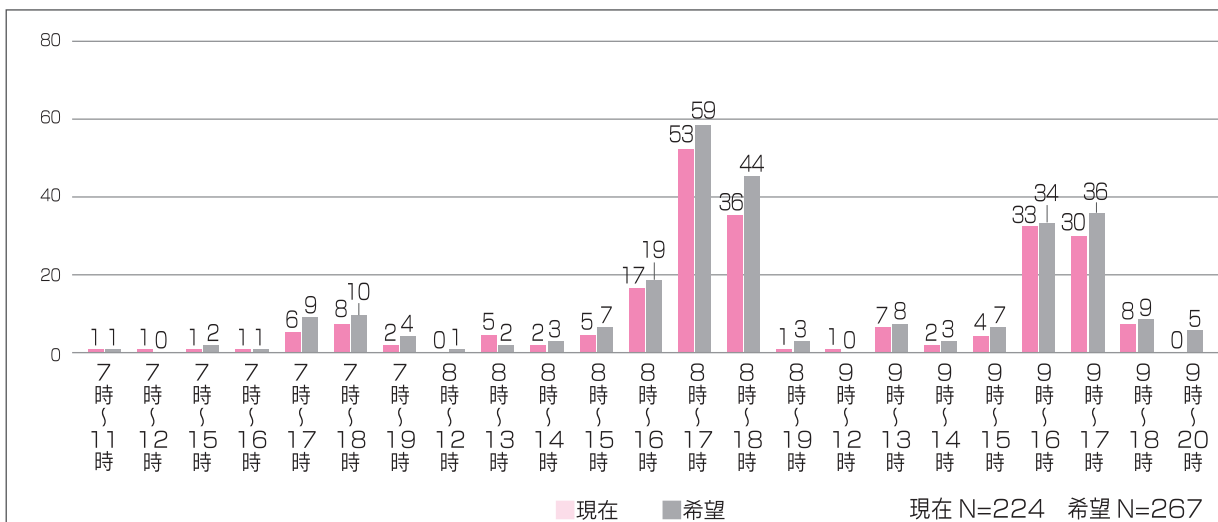
- ・定期的に利用している人の半数程度は、土曜日も9～10 時間程度利用している。
- ・日曜日・祝日はほとんどの家庭が利用していないが、仕事や息抜きのため、月に1～2 回程度利用したいという希望があった。
- ・幼稚園利用者のうち半数程度は、夏休み・冬休みにサービスを利用しており、さらに利用したいという希望がある。

土曜日の定期的な教育・保育サービス

問21-1 利用状況



問21-1 利用時間

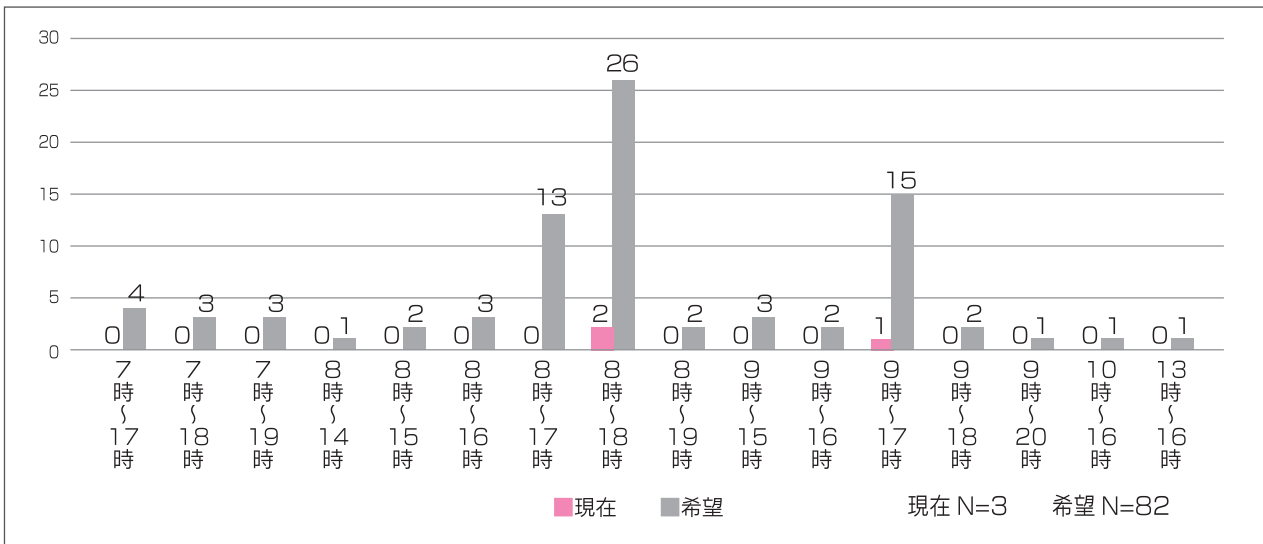


日曜・祝日の定期的な教育・保育サービス

問21-1 利用状況

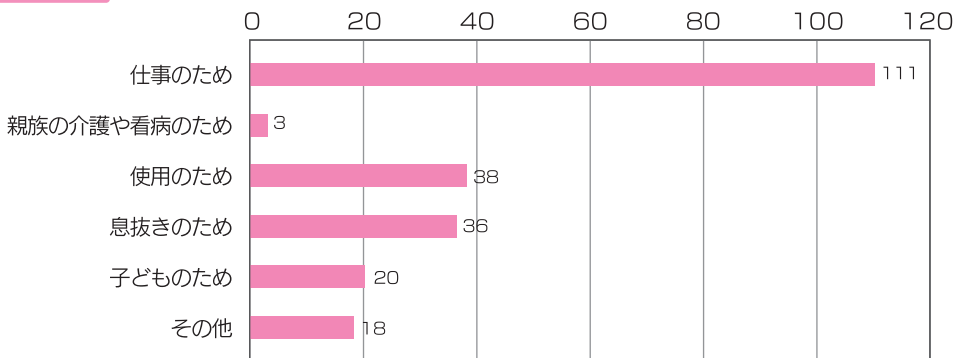


問21-1 利用時間



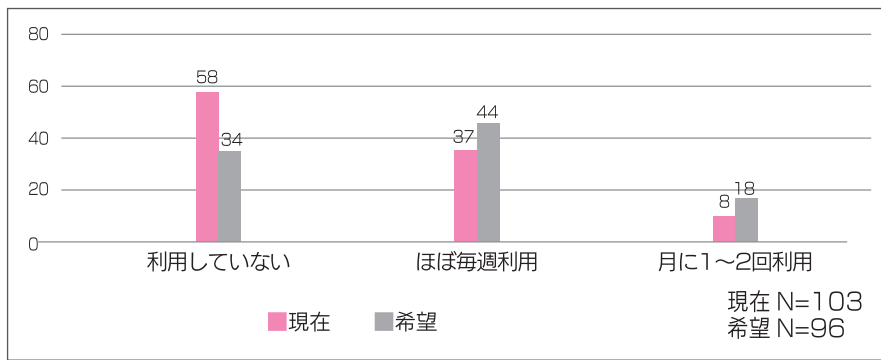
問21-1 月に1~2回利用したい理由

N=226

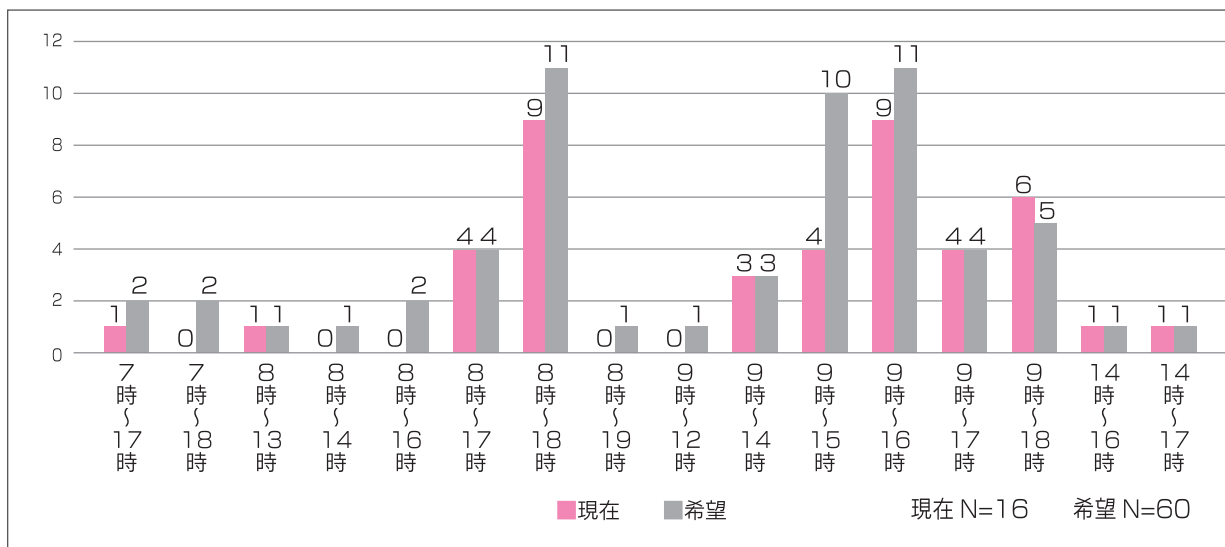


幼稚園を利用されている方のみ

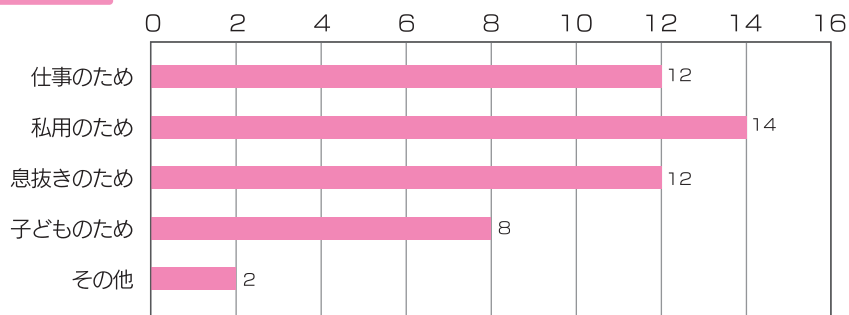
問22 長期休業中の定期的な教育・保育サービスの利用状況



問22 利用時間



問22-1 毎週ではなく月に1~2回利用したい理由 N=48



9

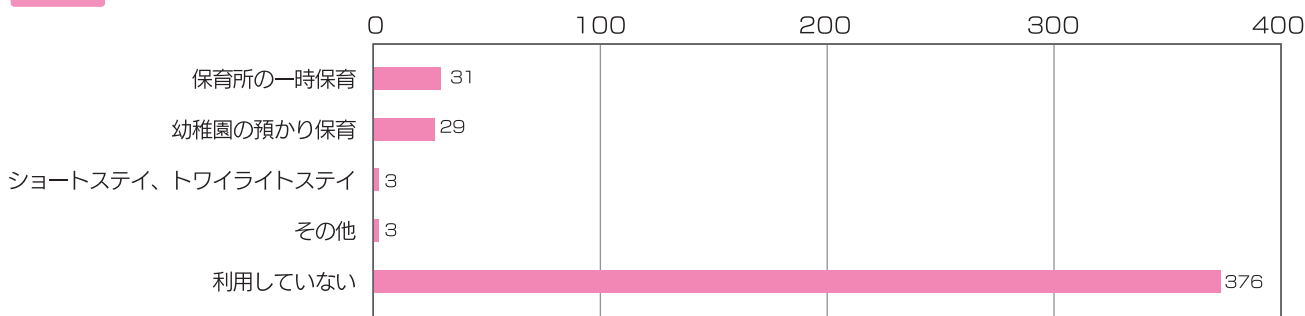
不定期な教育・保育サービス等の利用について

【概況】

- ・不定期に利用している人は少ないが、「保育園の一時保育」や「幼稚園の預かり保育」を利用している人は、年間10日以内の利用が最も多い。また、現状よりも利用日数を増やしたいという希望がある。
- ・妊娠期・出産期に必要なサービスとして「妊婦教室」や「このとりダイヤル」を挙げる人が多く、子育て情報の入手先は「広報おおむら」や「チラシ、お便り」を挙げる人が多かった。

問23 日中の定期的な教育・保育サービス以外に利用しているサービス

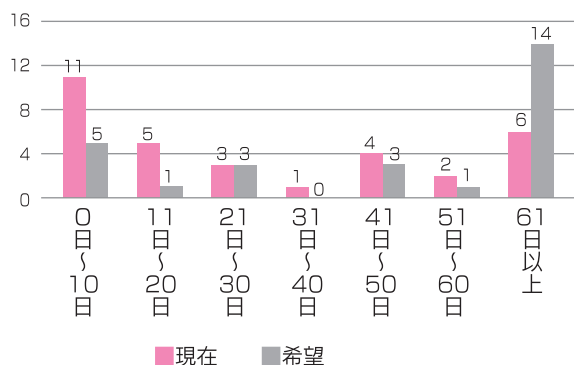
N=442



問23 利用日数、利用希望

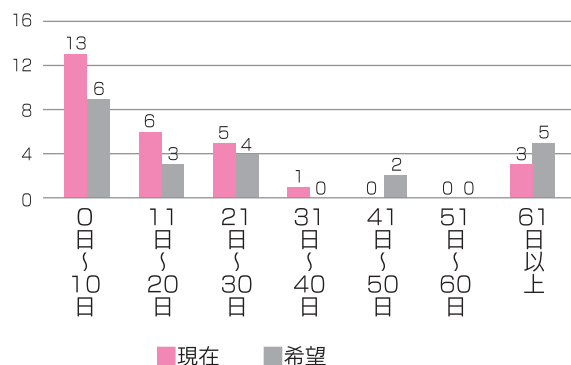
問23 保育園一時保育

現在 N=32
希望 N=27



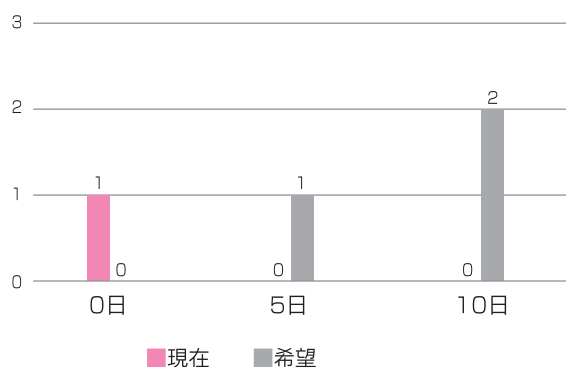
問23 幼稚園の預かり保育

現在 N=28
希望 N=23



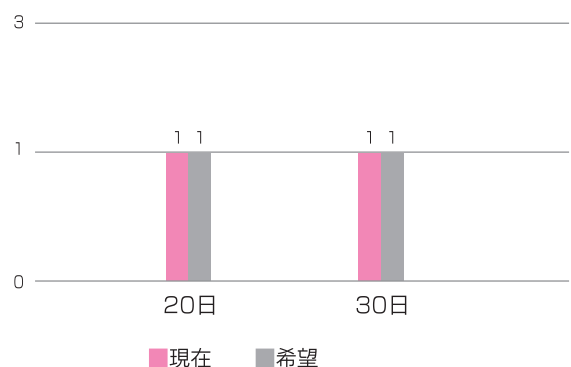
問23 ショートステイ、トワイライトステイ

現在 N=1
希望 N=3



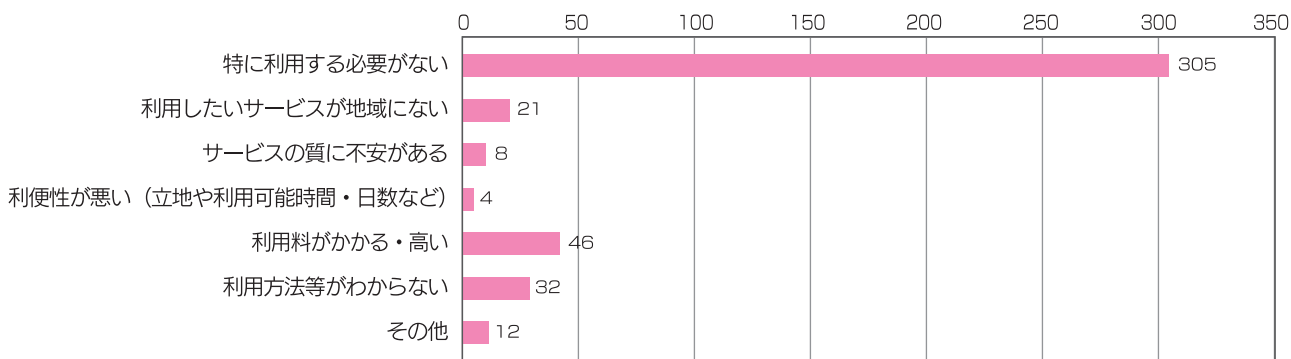
問23 その他

現在 N=2
希望 N=2



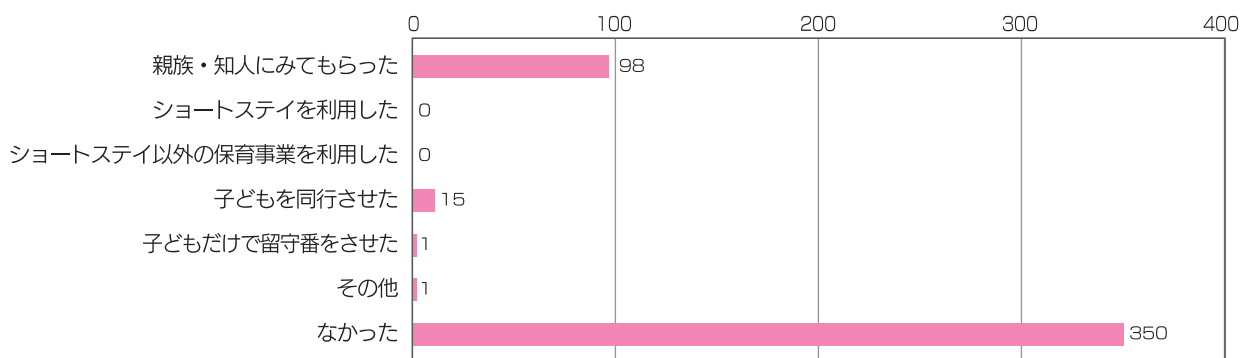
問23 利用していない理由

N=442



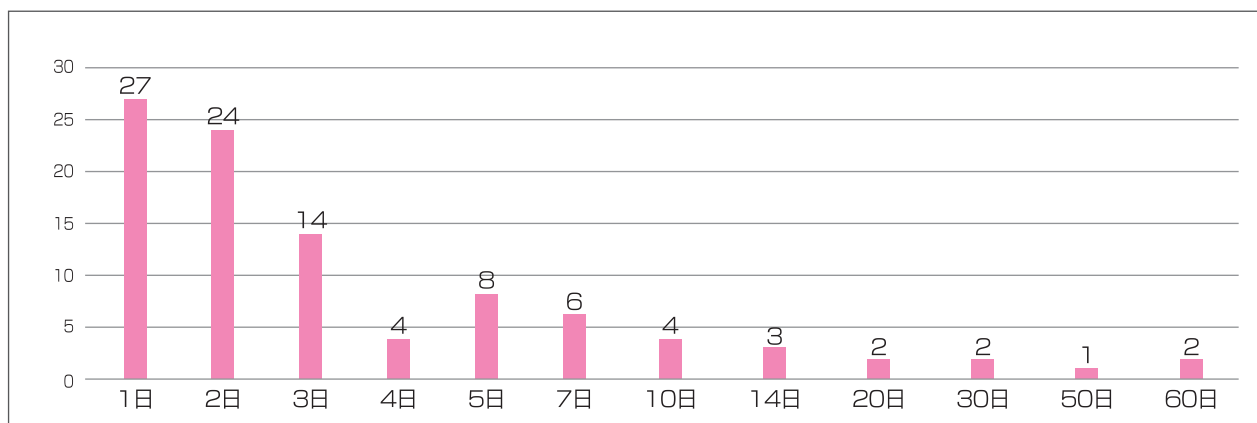
問24 子を泊りがけで家族以外にみてもらったことがあるか

N=465



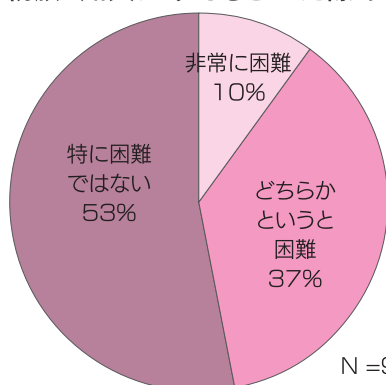
問24 親族・知人にみてもらった日数

N=97



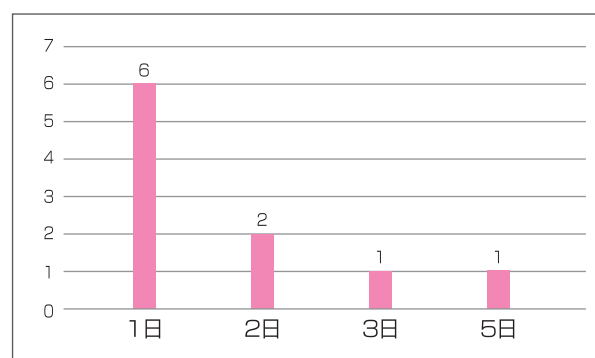
問24 親族・知人にみてもらった際の困難度

N=92

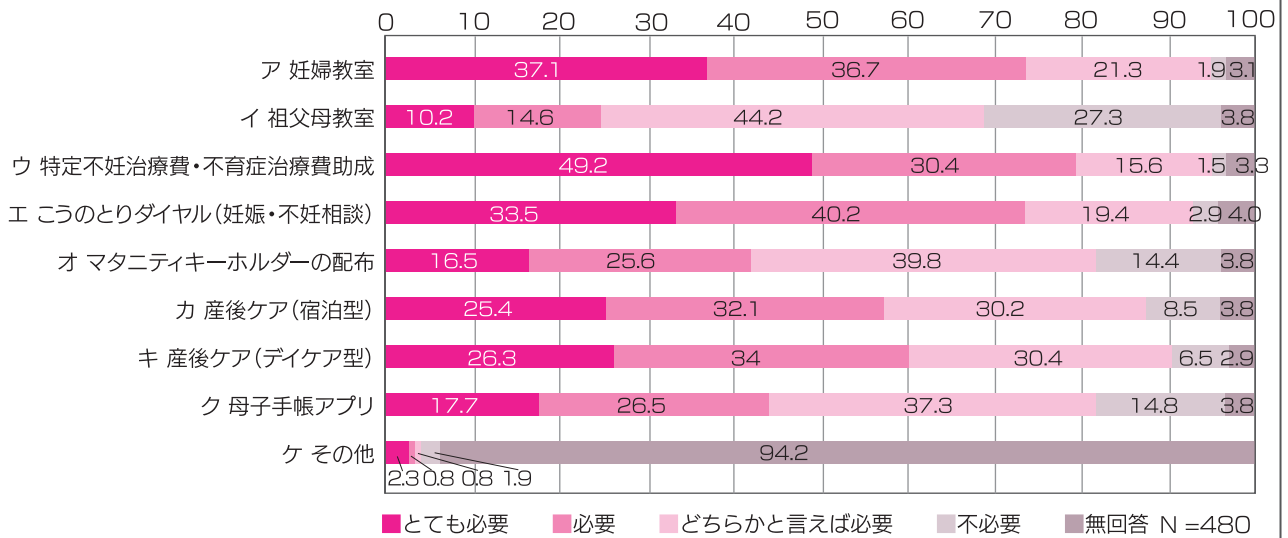


問24 子どもを同行させた日数

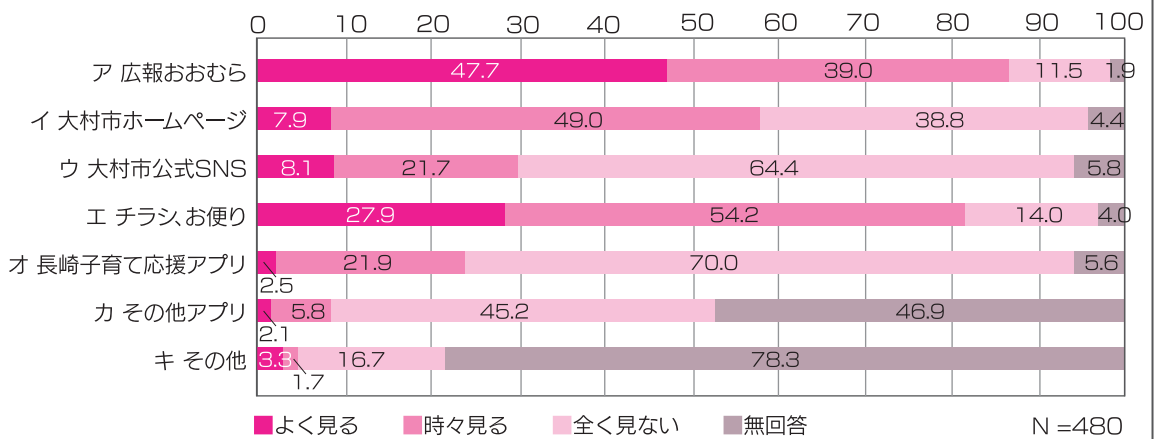
N=10



問25 妊娠期・出産期・子育て期における必要な事業やサービス



問26 日頃、子育てに関する情報をどのように得ているか



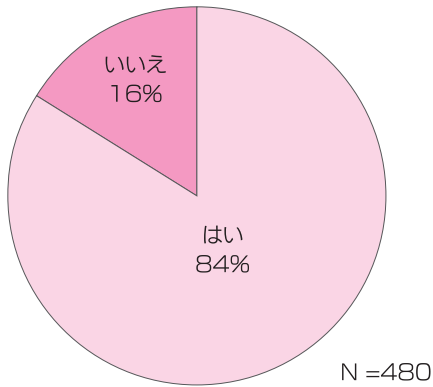
10

幼児教育・保育の保育料無償化について

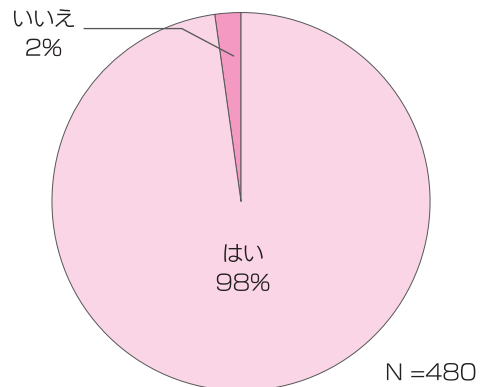
【概況】

- ・幼児教育・保育の保育料無償化について知っている方は84%おり、保育料が無償となった場合、施設を利用したい方は98%となり、ほとんどの方が利用したいという結果となった。
- ・施設を利用したい理由として最も多かったのが「子どもの教育や発達のため」、次いで「保護者の就労のため」であった。

問27 2019年10月の幼児教育・保育無償化を知っているか

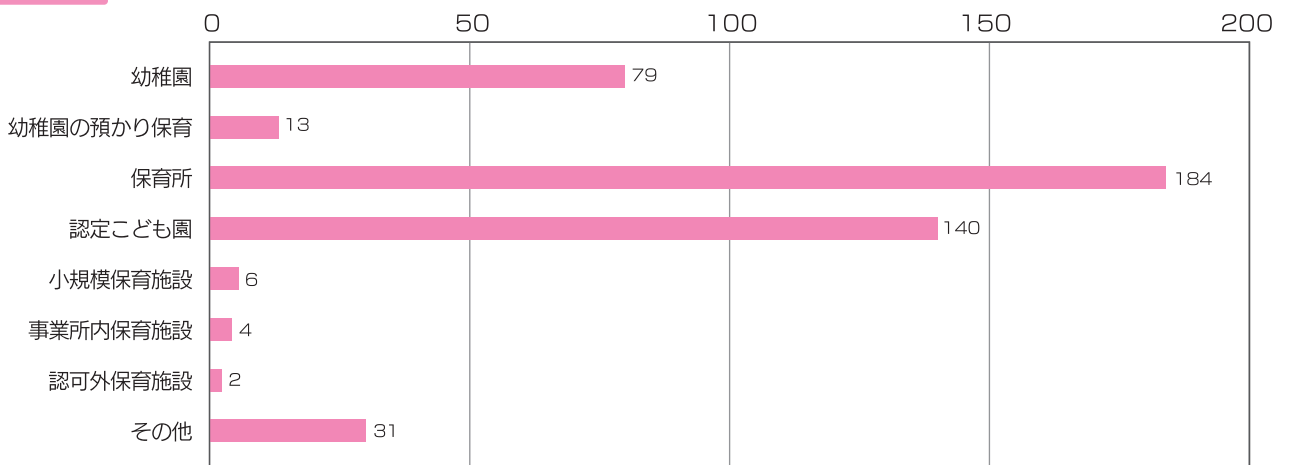


問27-1 保育料が無償となった場合、施設を利用したいか



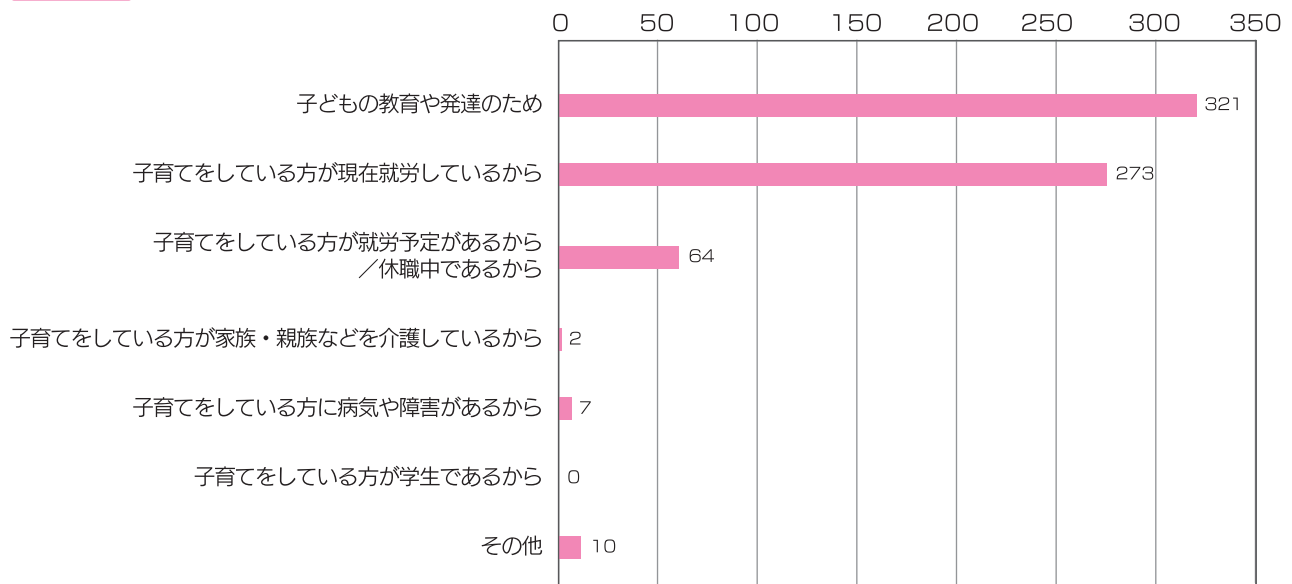
問27-2 保育料が無償となった場合に、最も利用したい施設

N=480



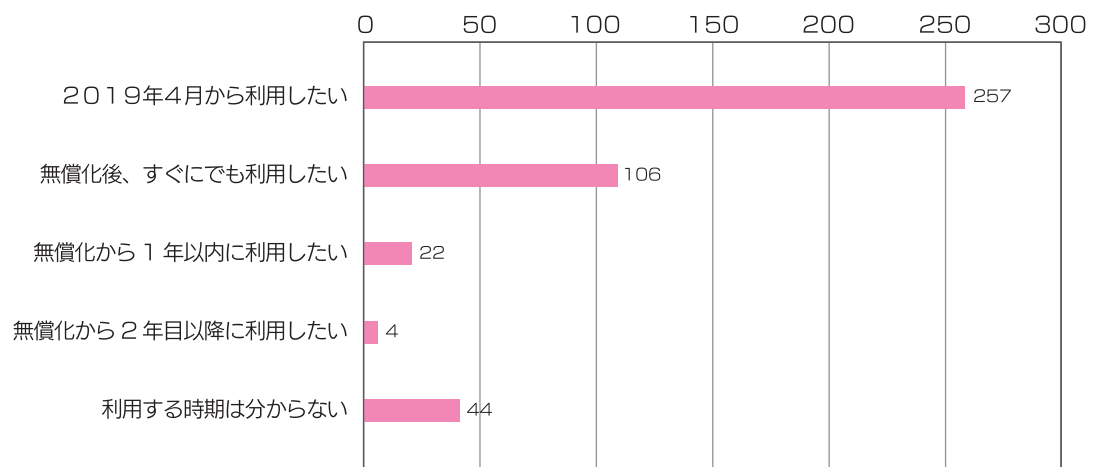
問27-3 施設を利用したい理由

N=677



問27-4 施設の利用を希望する時期

N=480



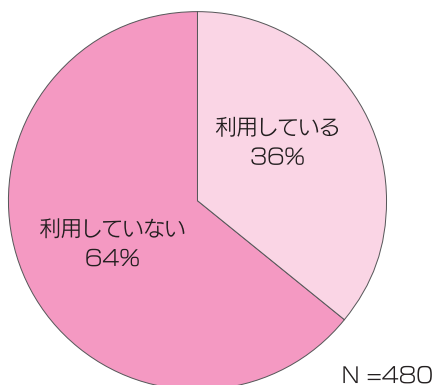
11

地域子育て支援センターの利用状況について

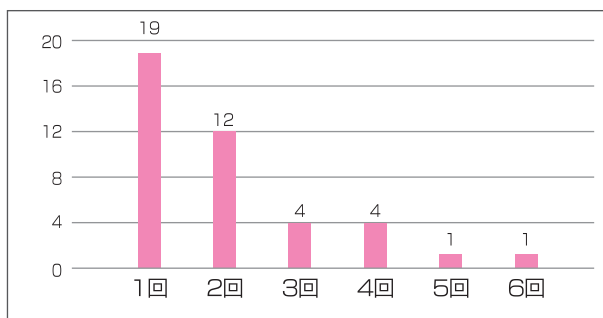
【概況】

- ・36%が子育て支援センターを利用しており、利用頻度は月1回が最も多かった。
- ・新たに利用したい人や利用日数を増やしたい人は、全体の30%程度いた。
- ・利用していない人の中には、利用方法やセンター自体を知らない人が20%程度いた。

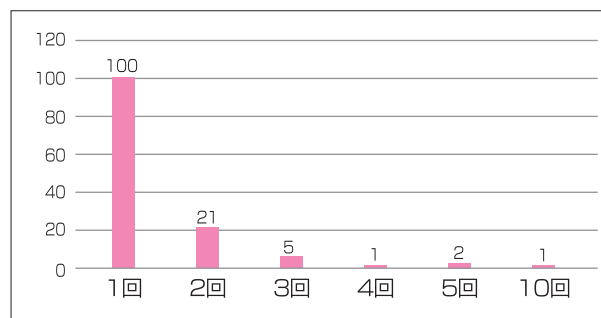
問28 現在、地域子育て支援センターを利用しているか



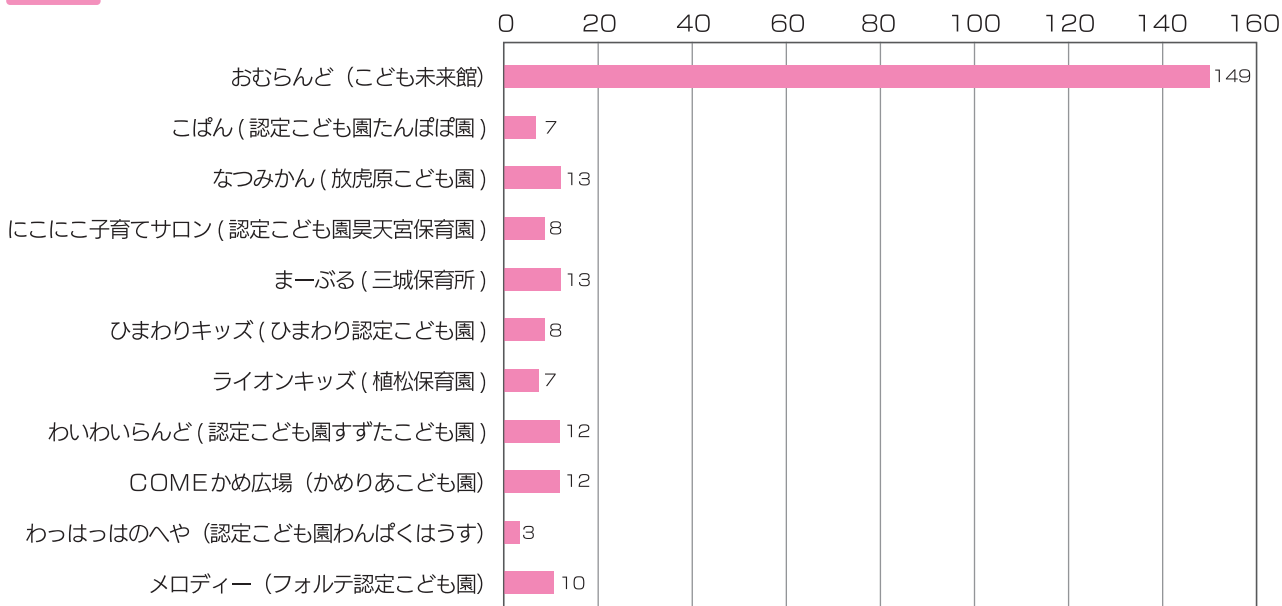
問28 週何回利用しているか N=172



問28 月何回利用しているか N=172

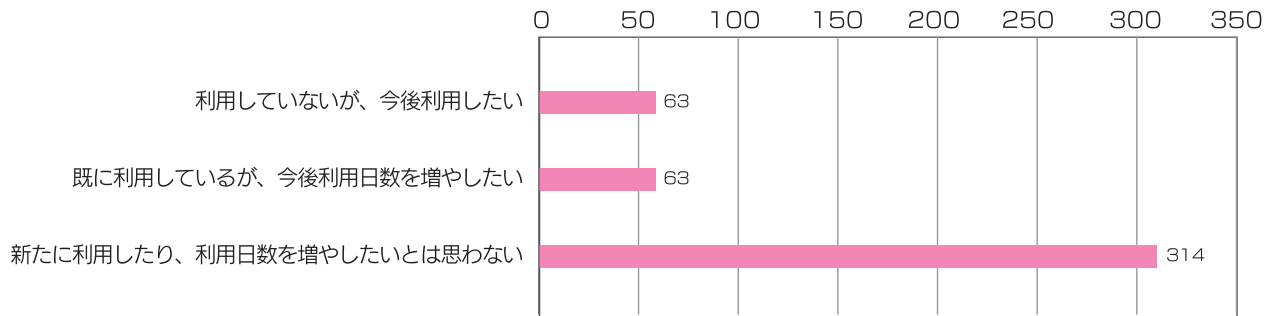


問28 利用している地域子育て支援センター N=172



問29 地域子育て支援センターの利用希望

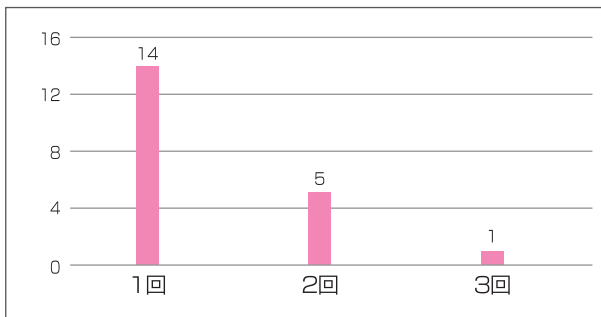
N=480



問29 新たに利用したい人

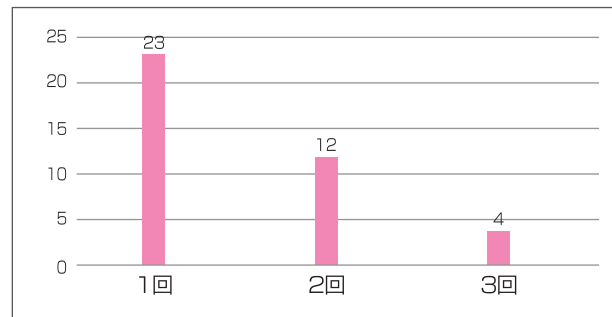
問29 1週当たりの利用回数

N=63



問29 1か月当たりの利用回数

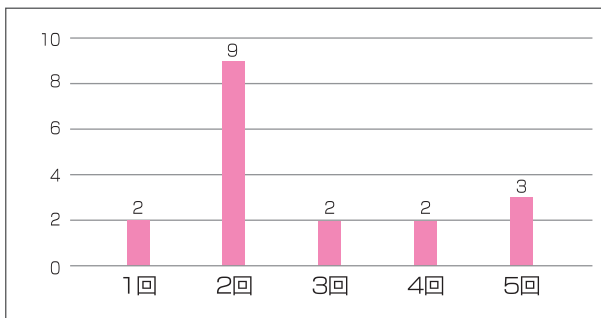
N=63



問29 利用日数を増やしたい人

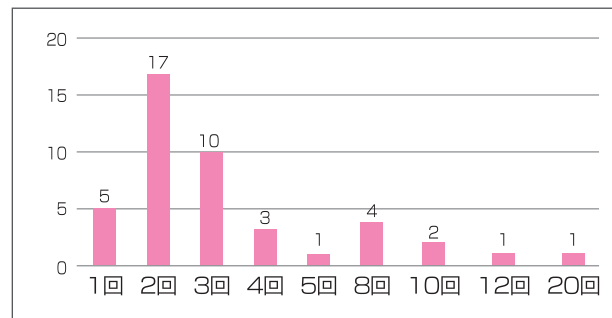
問29 1週当たりの利用回数

N=63



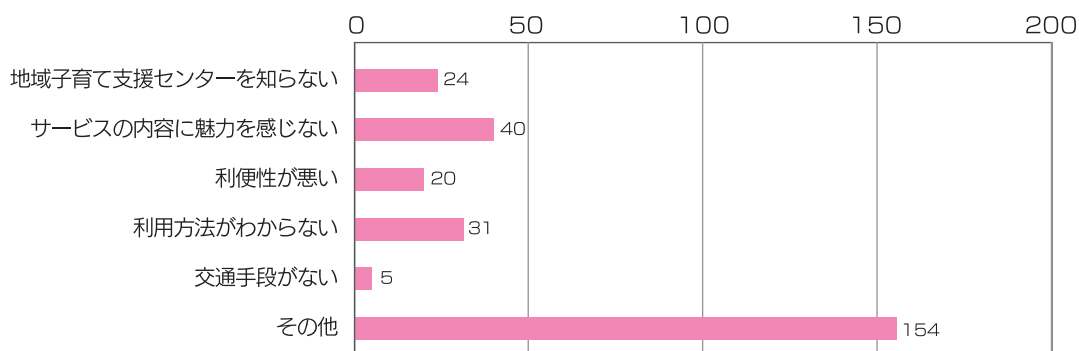
問29 1か月当たりの利用回数

N=63



問30 地域子育て支援センターを利用していない理由

N=377



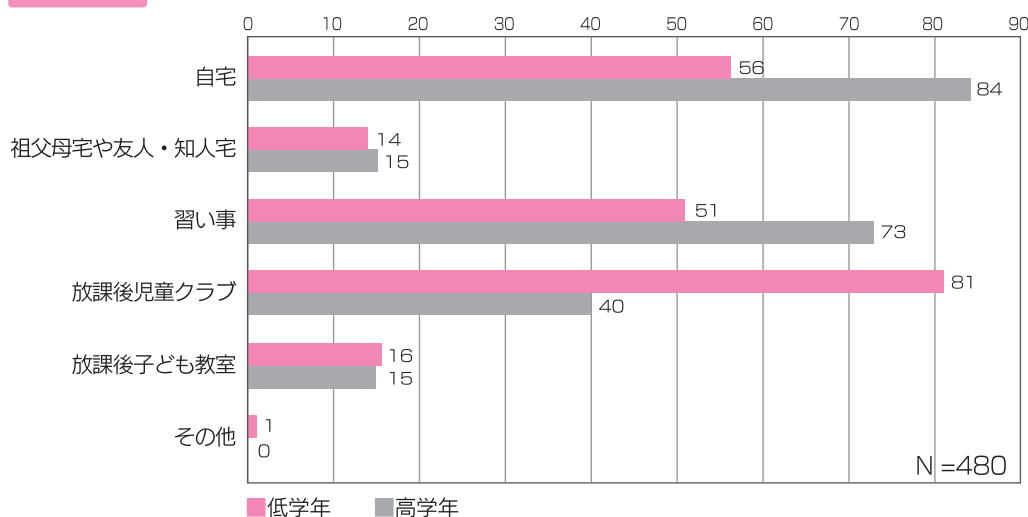
12

小学校就学後の放課後の過ごし方について

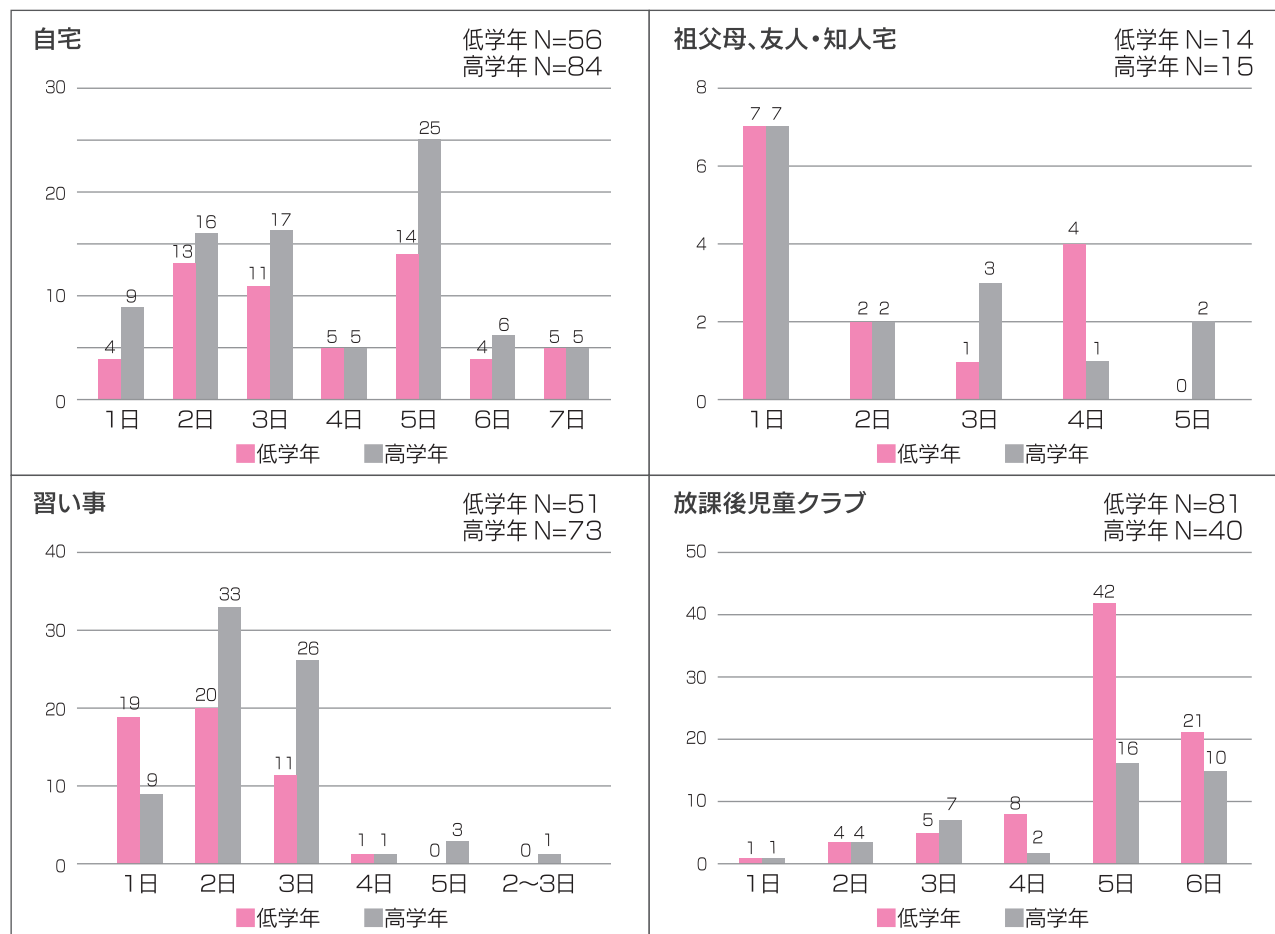
【概況】

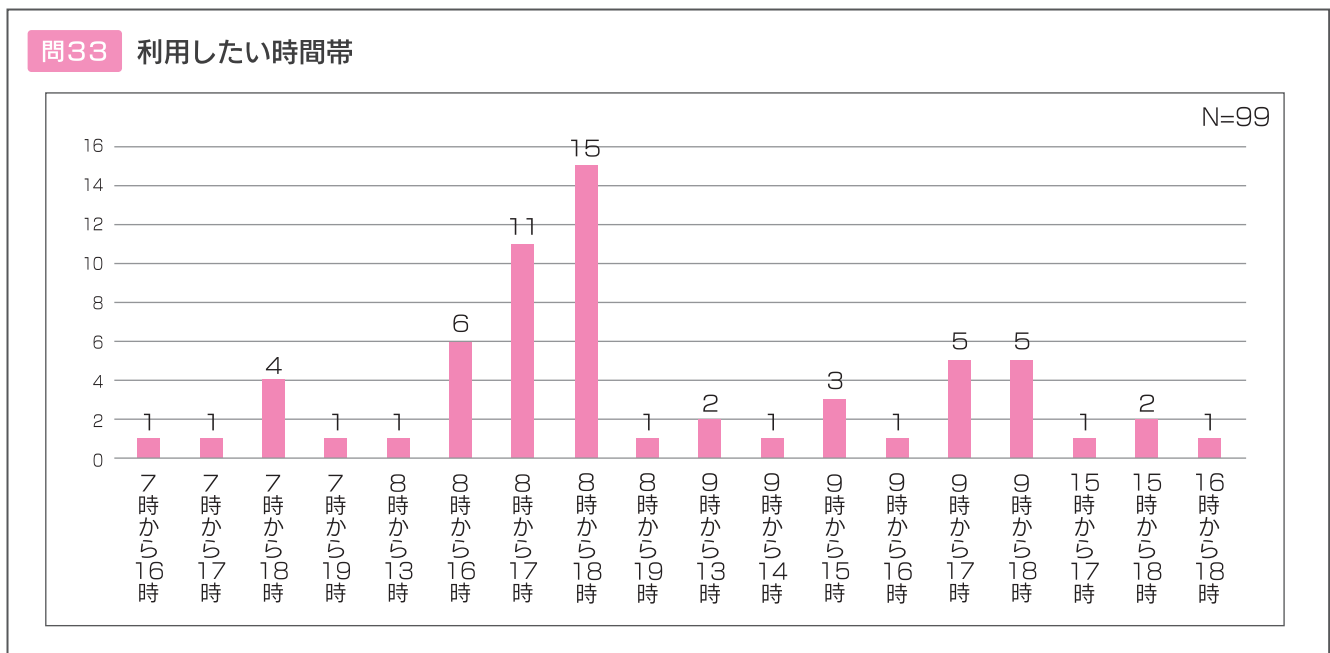
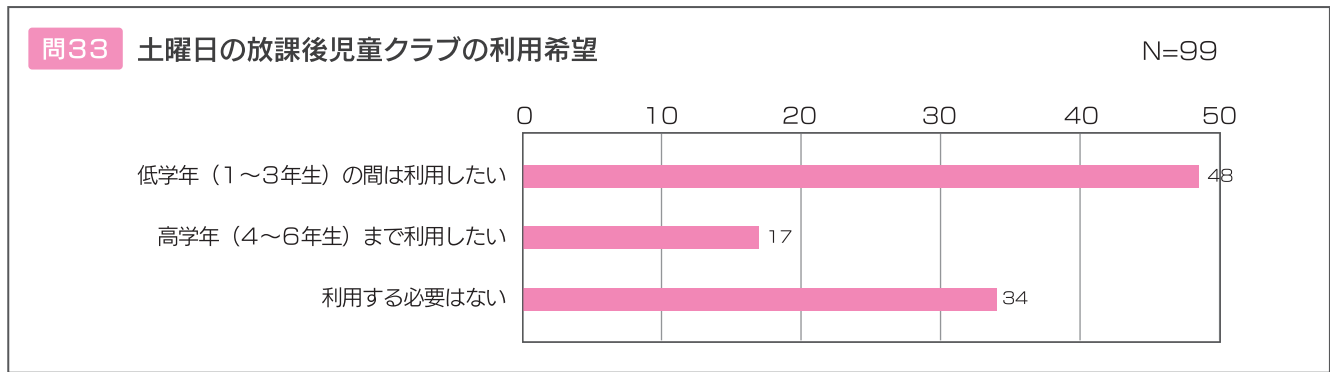
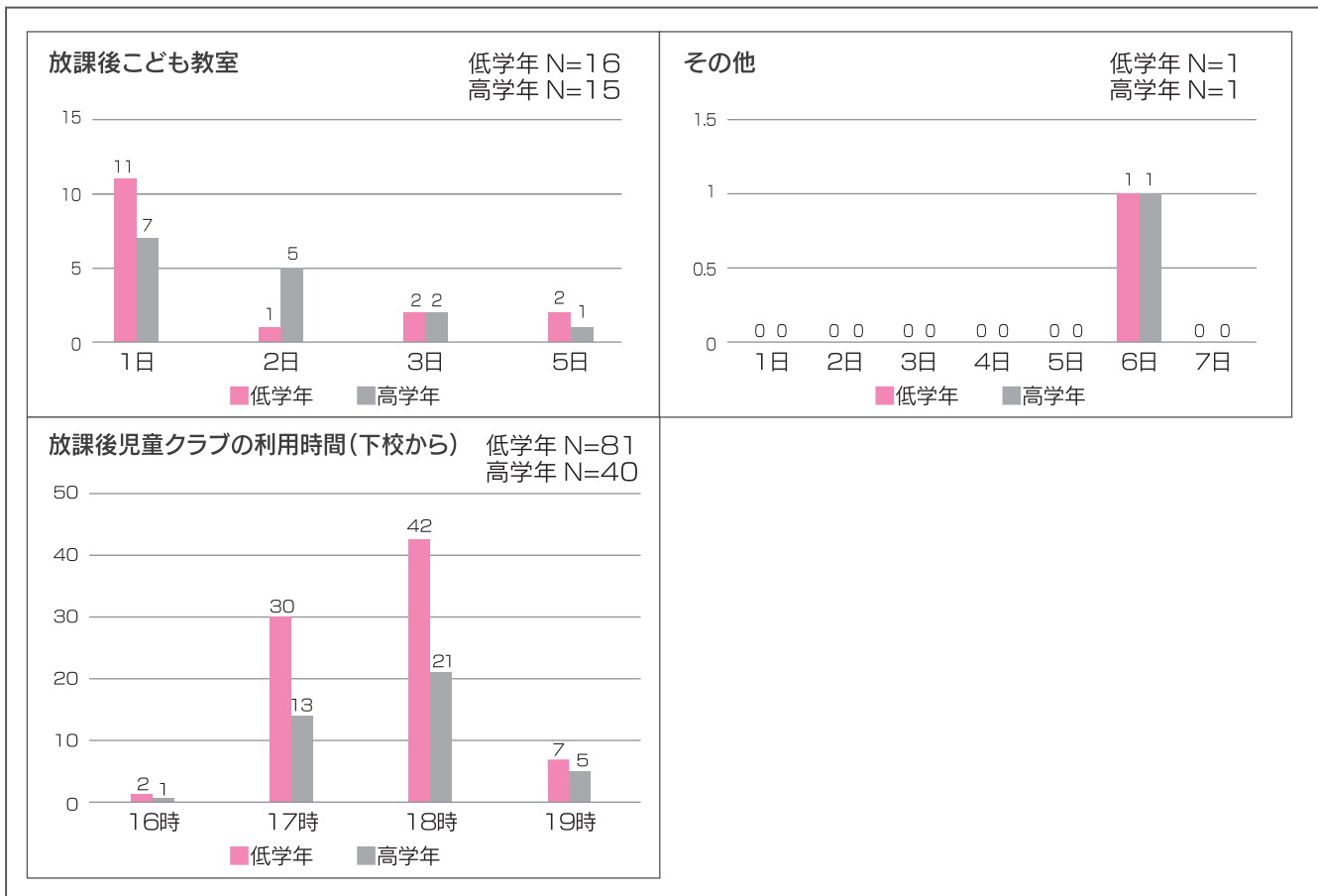
- ・低学年では、放課後児童クラブの利用の割合が高いが、高学年になると、自宅や習い事の割合が高くなっている。
- ・放課後児童クラブの利用日数は、1週間で5～6日が一番多く、習い事は1～3日が多かった。
- ・夏休みなどの長期休暇中でも高学年までは放課後児童クラブを利用したいとした人は32%あった。

問31・32 小学校の放課後の過ごし方の希望

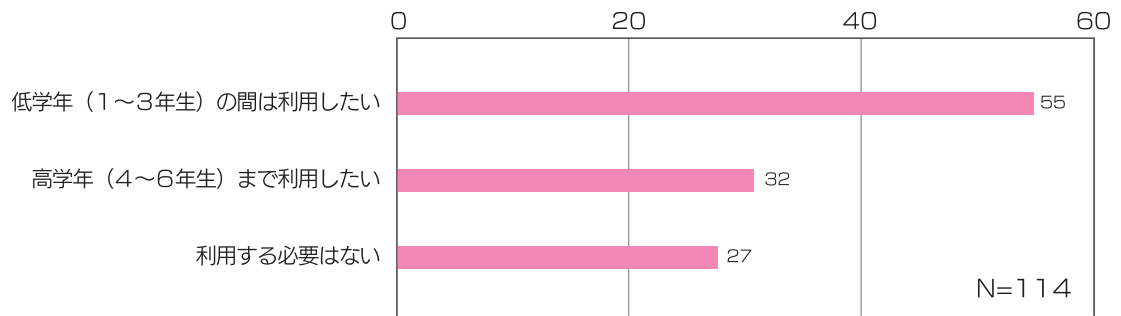


問31・32 1週あたりの日数

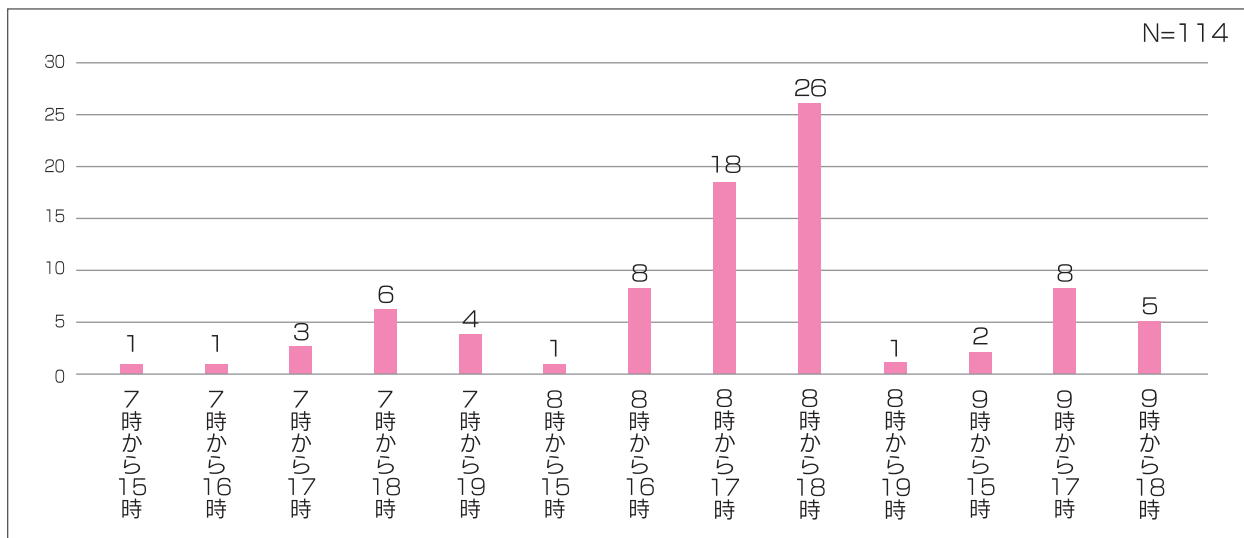




問34 長期休暇中のみ放課後児童クラブの利用希望



問34 利用したい時間帯

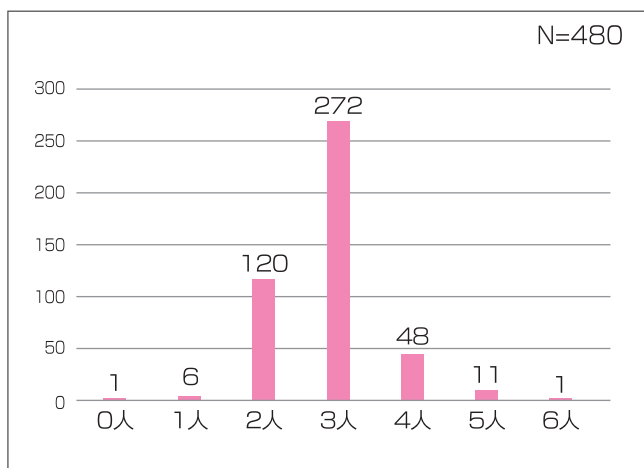


13 理想の子ども数について

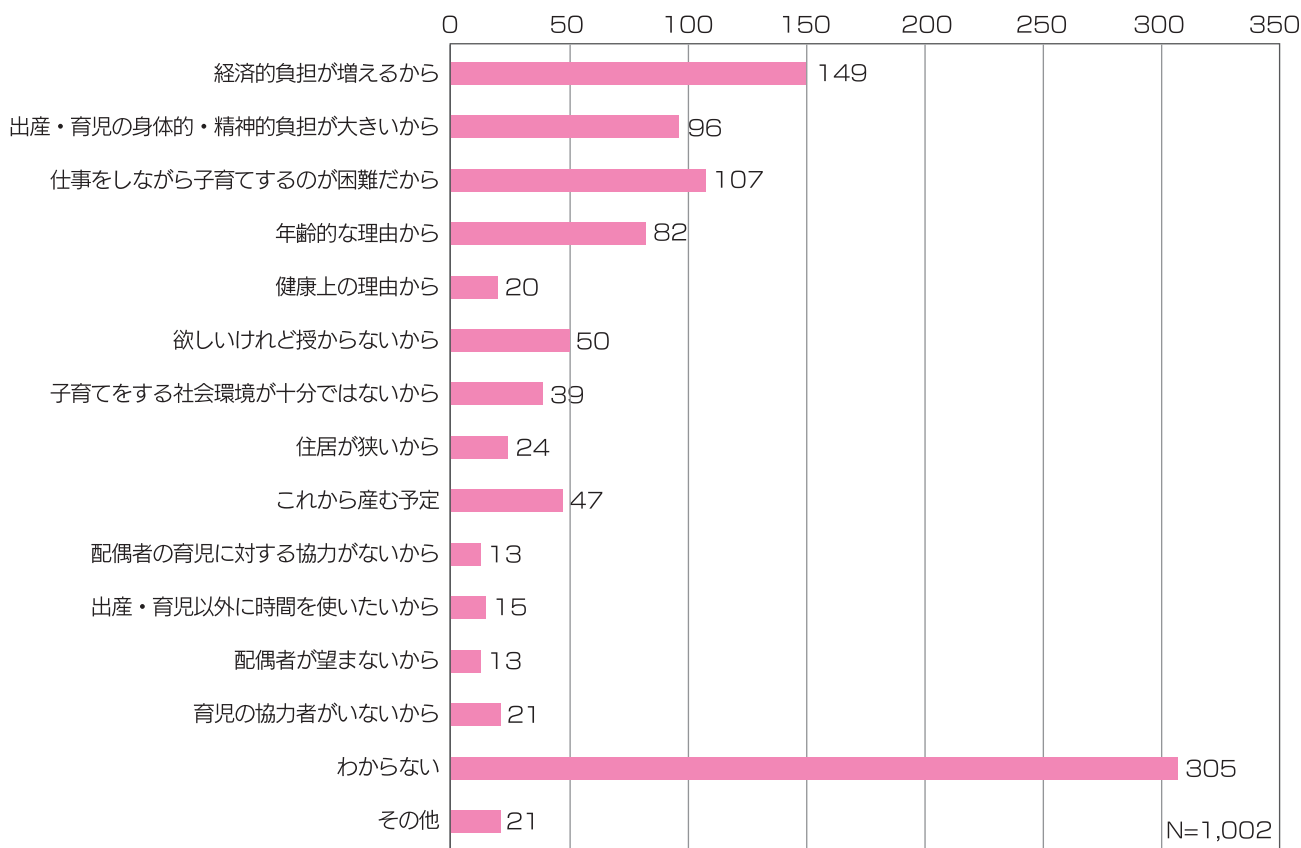
【概況】

- ・「3人」が59%と最も多く、次いで「2人」「4人」の順となった。
- ・理想より少ない理由としては、経済的負担が最も多く、次いで、仕事との両立や出産後の身体的・精神的な負担などが多かった。

問35 理想の子ども数



問35-1 実際の子どもの数が理想の子ども数より少ない理由

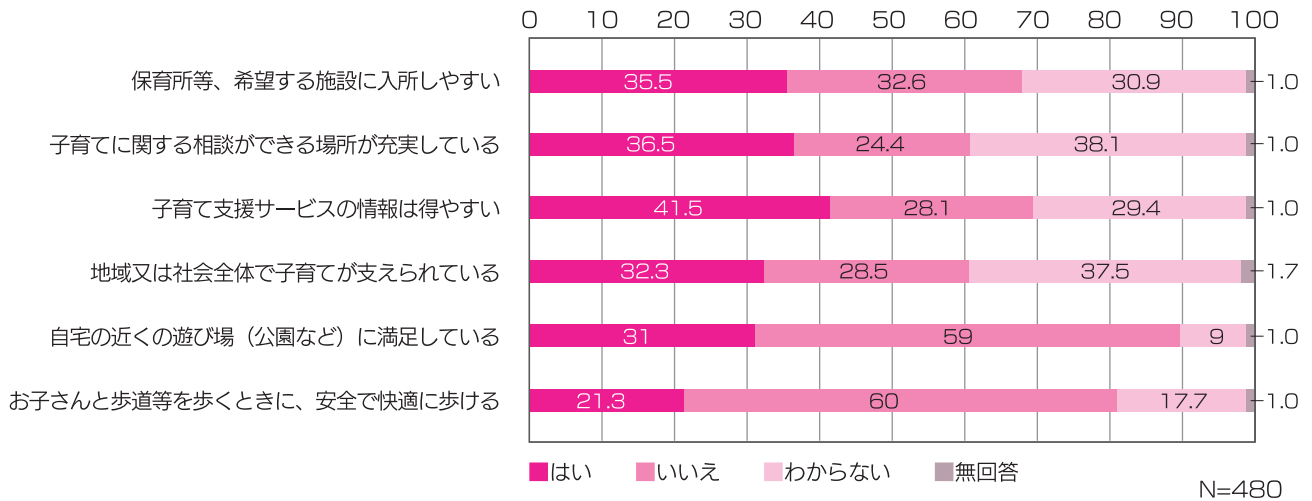


14 子育てに関する満足度について

【概況】

- ・自宅近くの遊び場や歩道など、ハード面についての満足度が低かった。また、子育てに関する情報が得にくいと考えている人も28%いた。

問36 子育ての環境や支援への満足度



問37 子育て全般に関する意見

※自由意見を一部抜粋しています。

- ・保育園の数を増やしてほしい。
- ・幼稚園か保育園の入園の段階で相談したり、家庭に合ったタイプを選んだり、相談できる場所があるとよいと思う。
- ・保育園、放課後児童クラブの待機を改善してほしい。
- ・自治体の協力により、保育士の処遇（賃金、講習会、相談ツール等）が改善されれば、保育士の心の余裕、子どもへのより良い対応、保育士不足の解消にもつながると思う。
- ・産院によっては、産後ケアをしていないところもあるため、産後ケアを充実してほしい。
- ・おむらんどはとても充実しているが、諫早の運動公園のような屋外の大きな公園がほしい。
- ・1人息子を不妊治療で授かり、2人目も不妊治療の必要性がある。子育てに関しても充実が大切ですが、子どもを授かる前に関しても援助をしてほしい。
- ・教育費が負担になっていると感じる。子どもの数も少なくしか持てない現状があると思う。
- ・大村市役所の中におむつ交換台があるトイレや授乳室を設置してほしい。
- ・父母ともに就労している場合の家事支援、子育て支援があればよいと思う。

[子ども・子育て支援プラン策定に係るアンケート調査(小学生)概要]

実施期間:平成30年11月30日~平成30年12月21日

対 象:小学1年生から6年生がいる世帯(平成30年3月31日現在)1,000世帯

抽出方法:住民基本台帳を用いた無作為抽出

実施方法:郵送による配布。郵送、持参による回収。

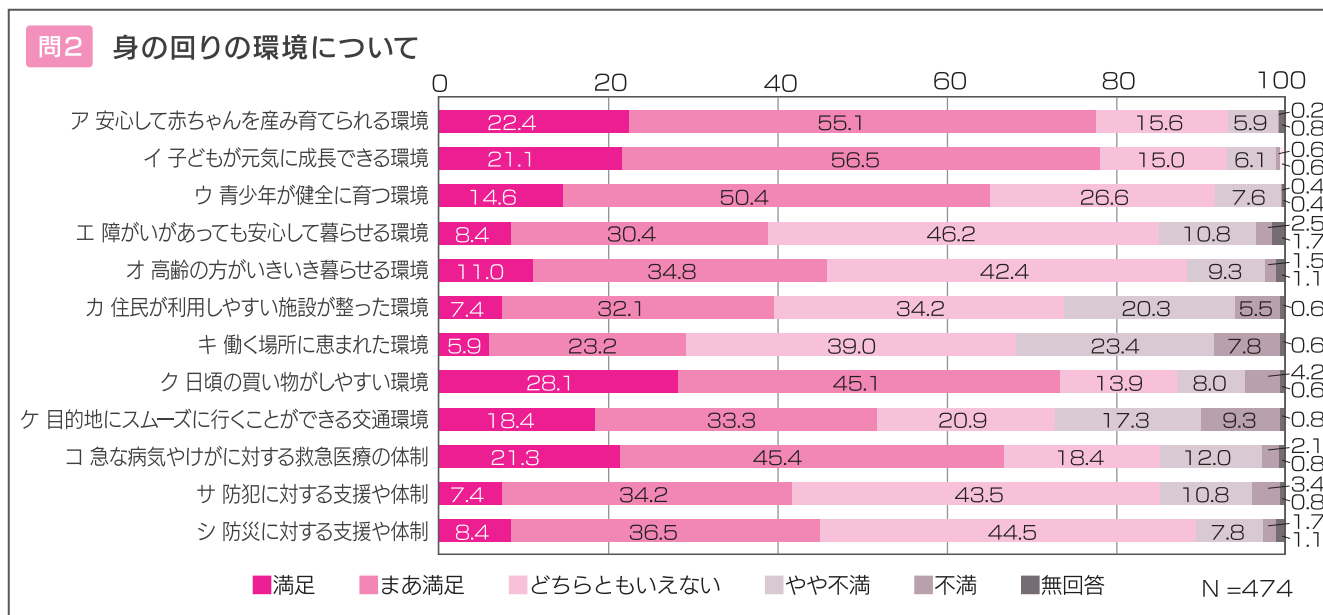
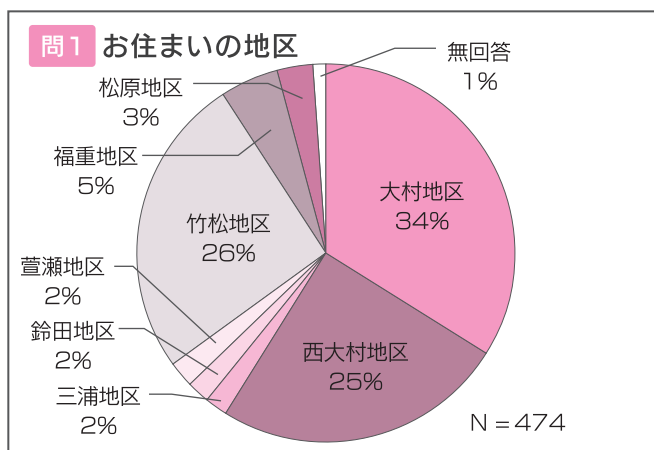
回 収 率:47.4% 回 収 数:474件

小学生調査結果

1 住まいの状況について

【概況】

・身の回りの環境について、子育てに関する項目は満足度が高かったが、障がいがあっても安心して暮らせる環境や働く場所に恵まれた環境などの項目の満足度が低い結果となった。

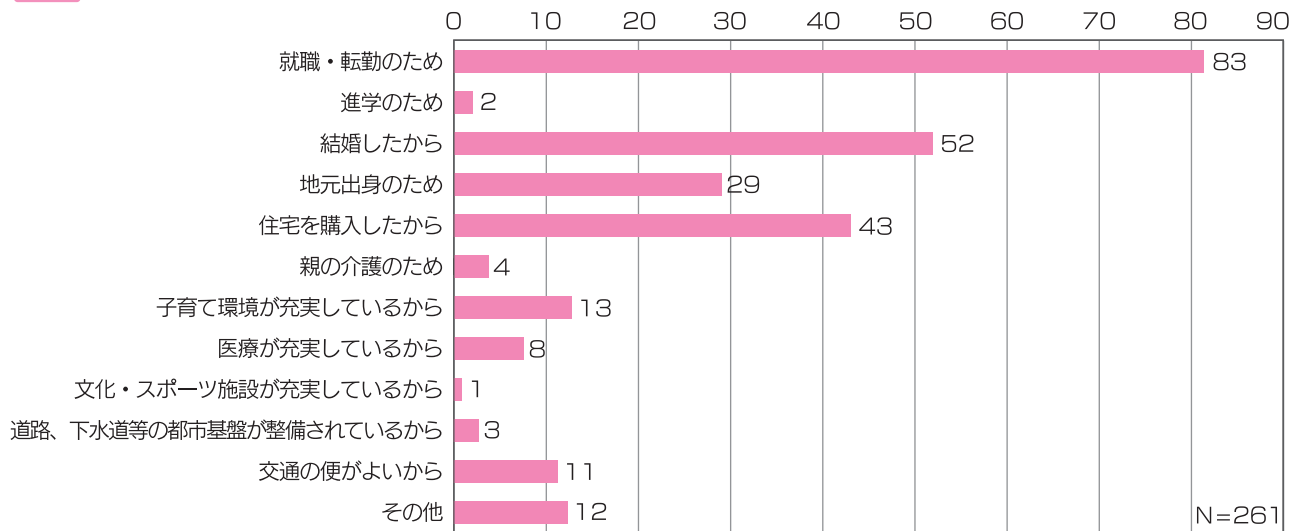


2 市外からの転入について

【概況】

・転入した理由として、一番多い回答は「就職・転勤のため」の83人(31.8%)、次いで「結婚したから」の52人(19.9%)であった。

問3 大村市に転入した理由

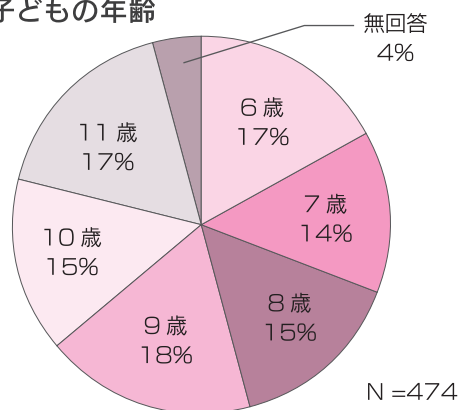


3 家族の状況について

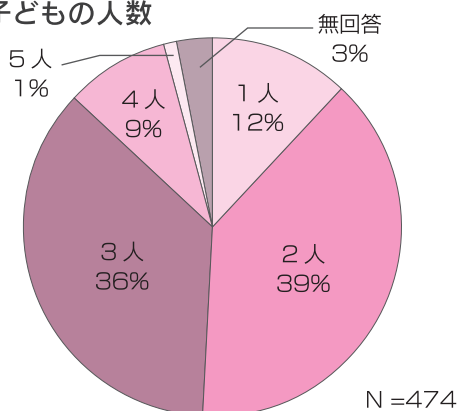
【概況】

・子どもの数は「2人」が41%と最も多く、次いで「3人」、「1人」となっている。また、ひとり親家庭は8%であった。

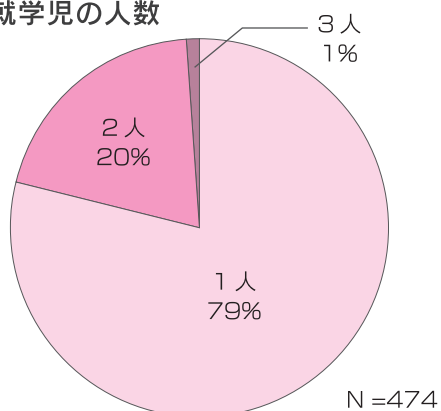
問4 子どもの年齢



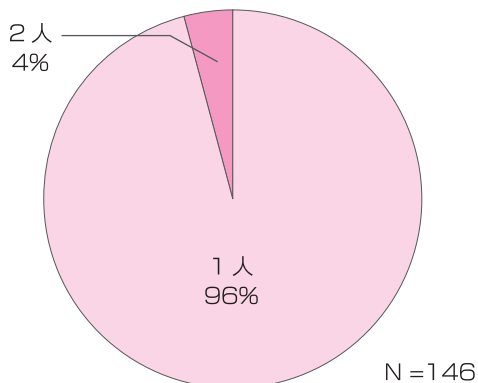
問5 子どもの人数



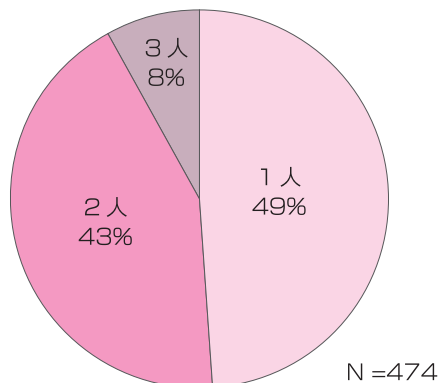
問5 未就学児の人数



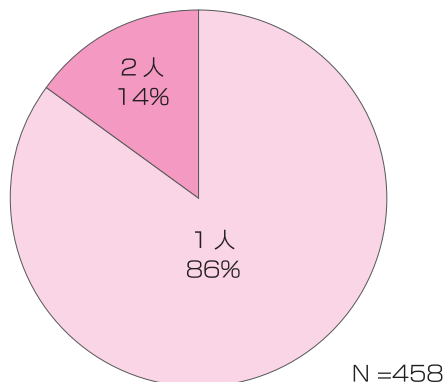
問5 未就学児のうち、0～2歳児の人数



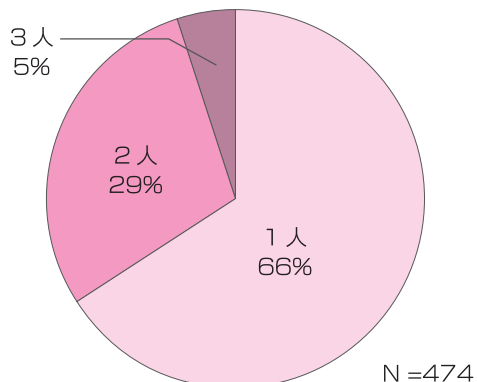
問5 小学生の人数

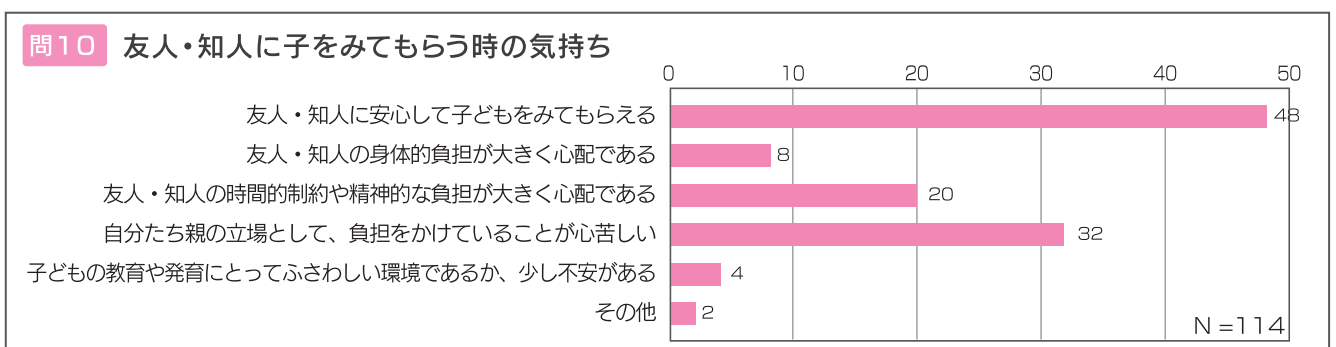
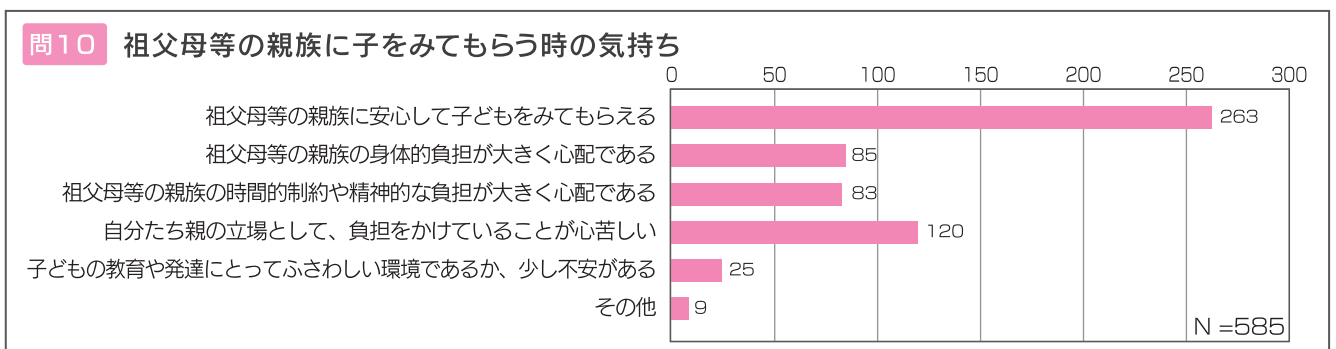
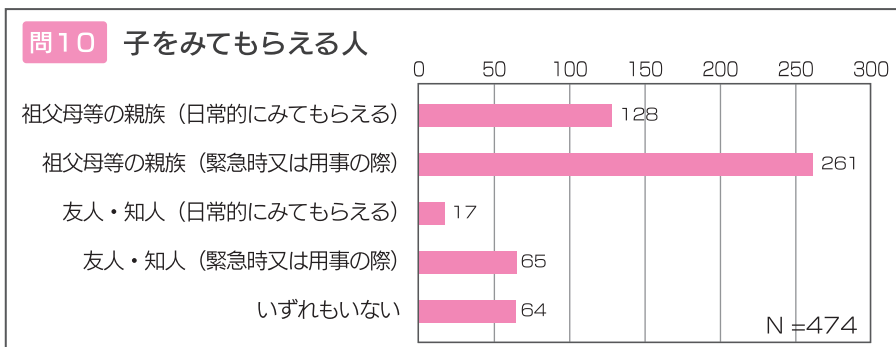
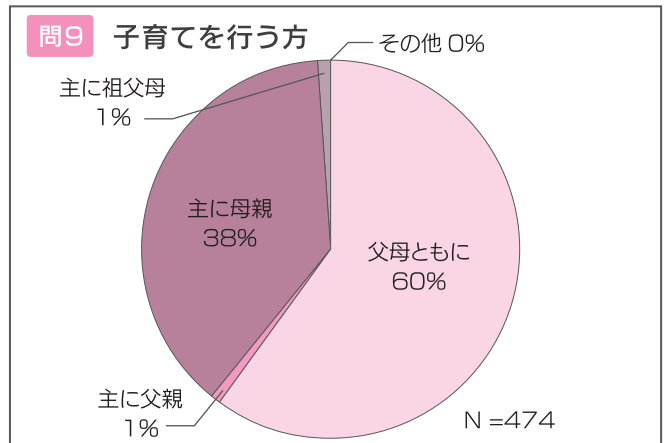
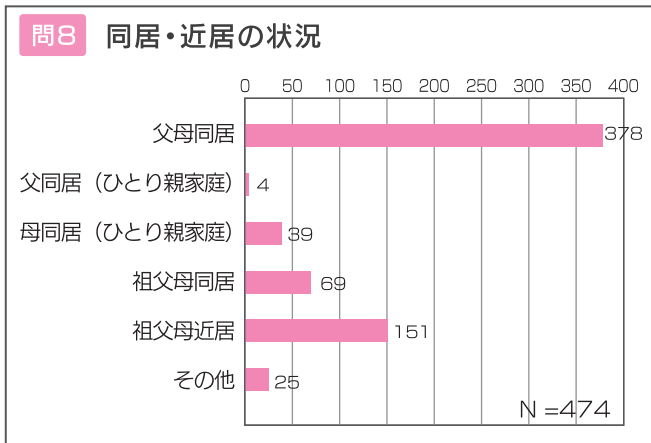
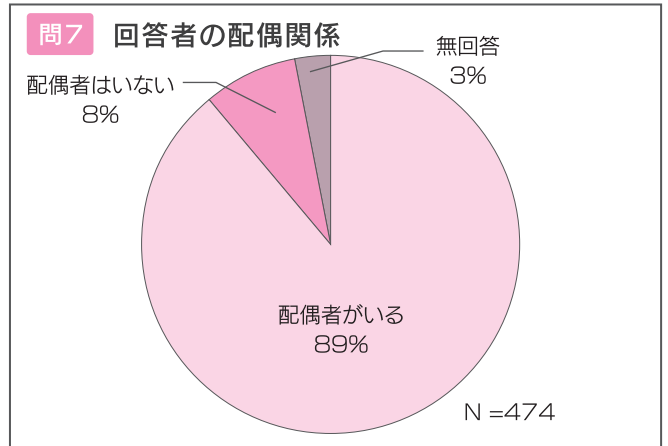
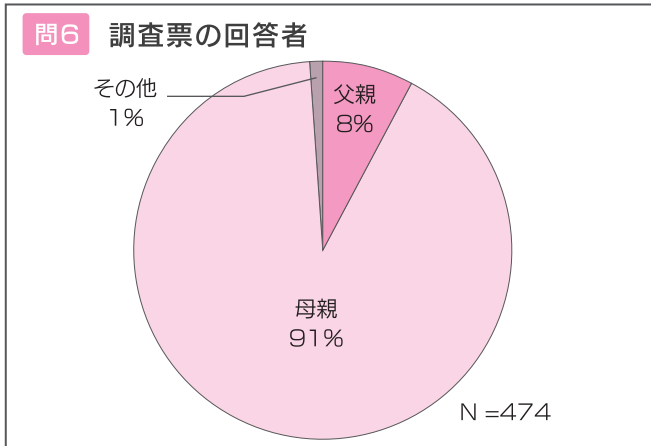


問5 小学生のうち、1～3年生の人数

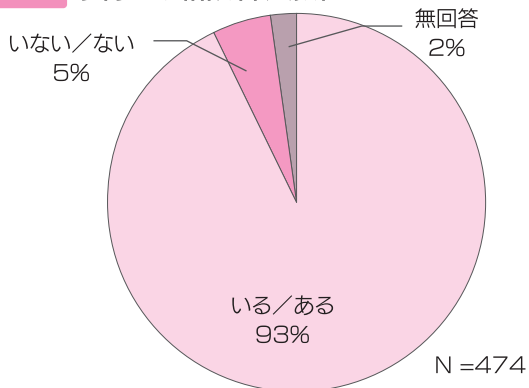


問5 中学生から大学生の人数

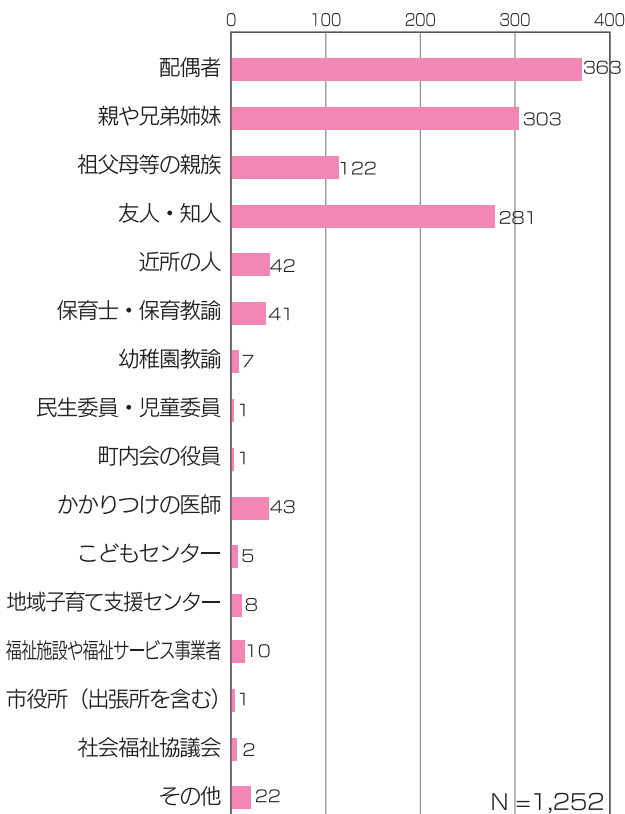




問11 子育ての相談者、場所



問11-1 子育ての相談ができる先

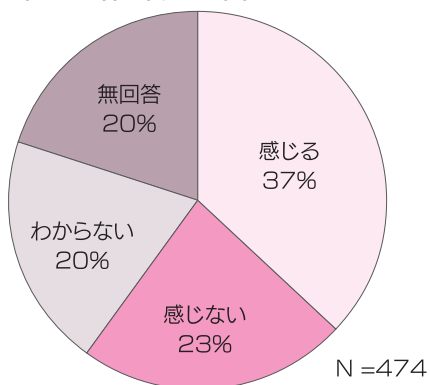


問11-2 周囲から希望するサポートについて

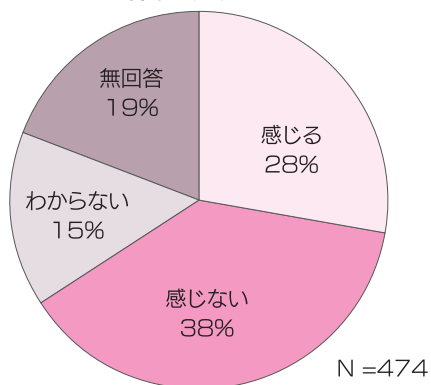
※一部抜粋

- ・日曜日に預けられる病児保育
- ・残業などの際、宿題や食事ができる施設
- ・体を思いっきり動かせる施設
- ・放課後の子どもたちの居場所
- ・様々な情報を収集できる場所

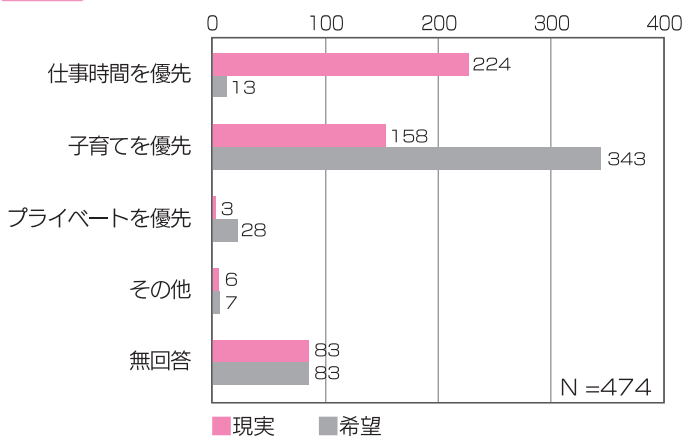
問12 仕事と生活の両立が図られていると感じるか



問13 子どもとの時間が充分とれていると感じるか



問14 生活の中での優先度

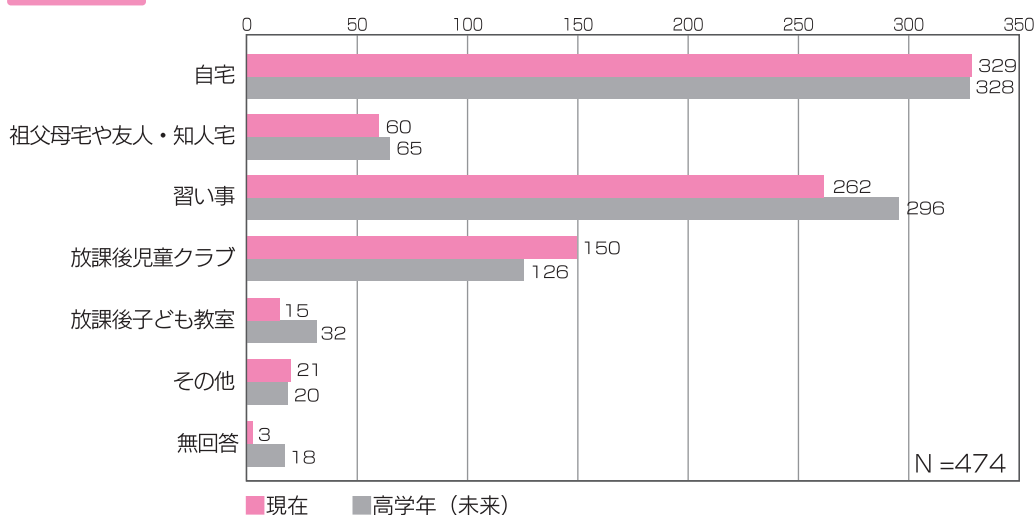


4 小学校就学後の放課後の過ごし方について

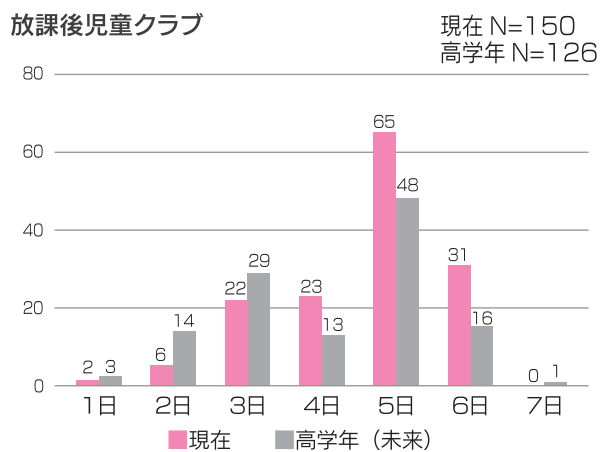
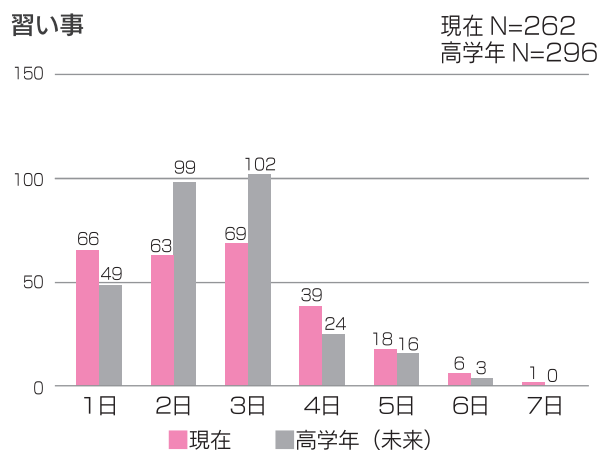
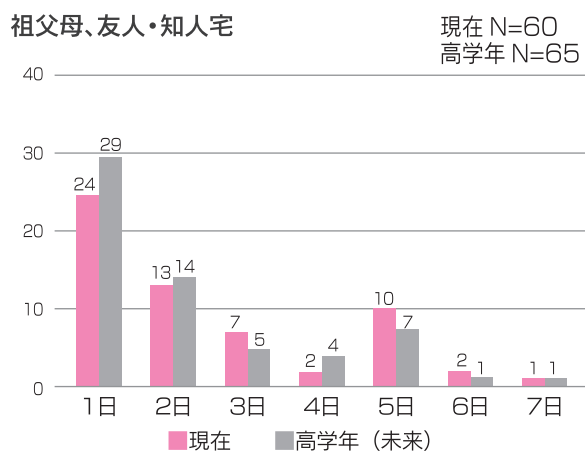
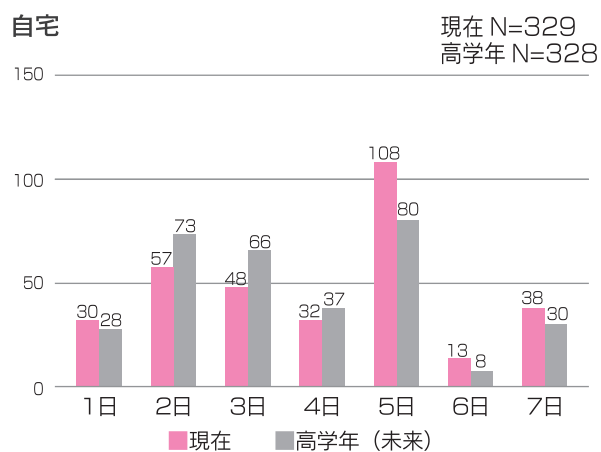
【概況】

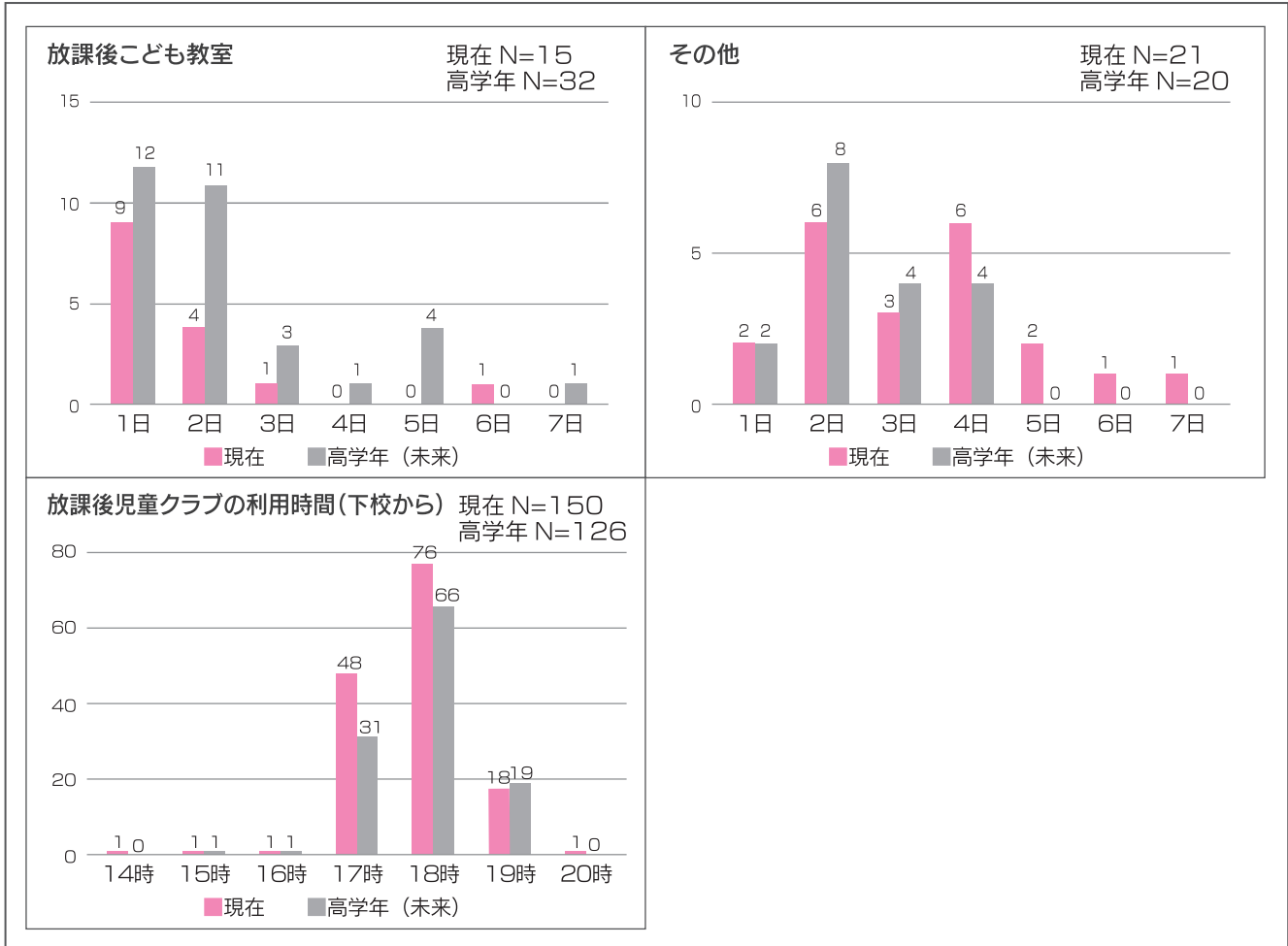
- ・低学年では、放課後児童クラブの利用の割合が高いが、高学年になると、習い事の割合が高くなっている。
- ・放課後児童クラブの利用日数は、1週間で5～6日が一番多く、習い事は1～3日が多かった。
- ・夏休みなどの長期休暇中も高学年までは放課後児童クラブを利用したいとした人は45%あった。

問15・16 小学校の放課後の過ごし方

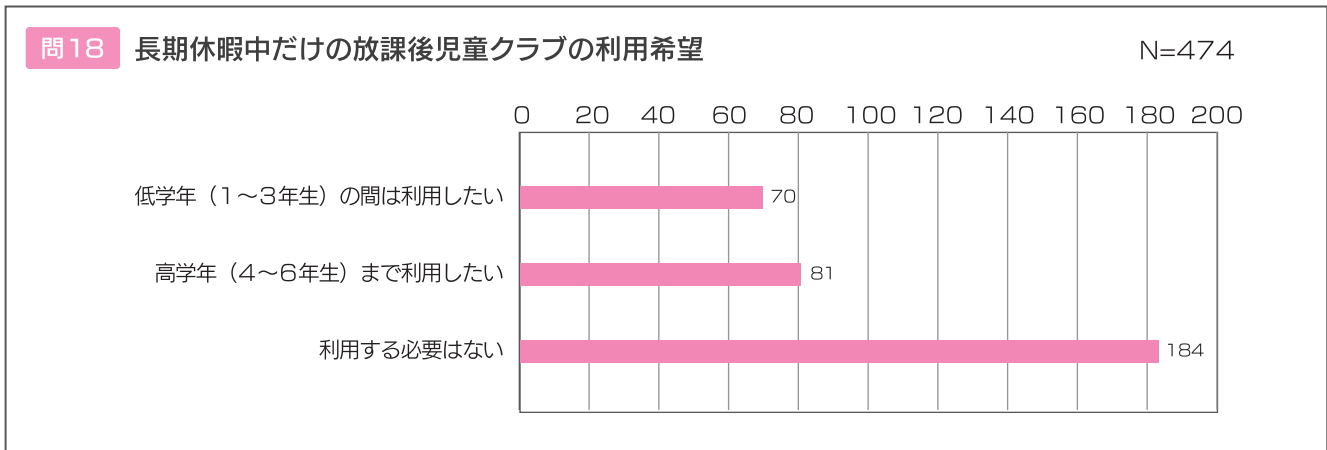
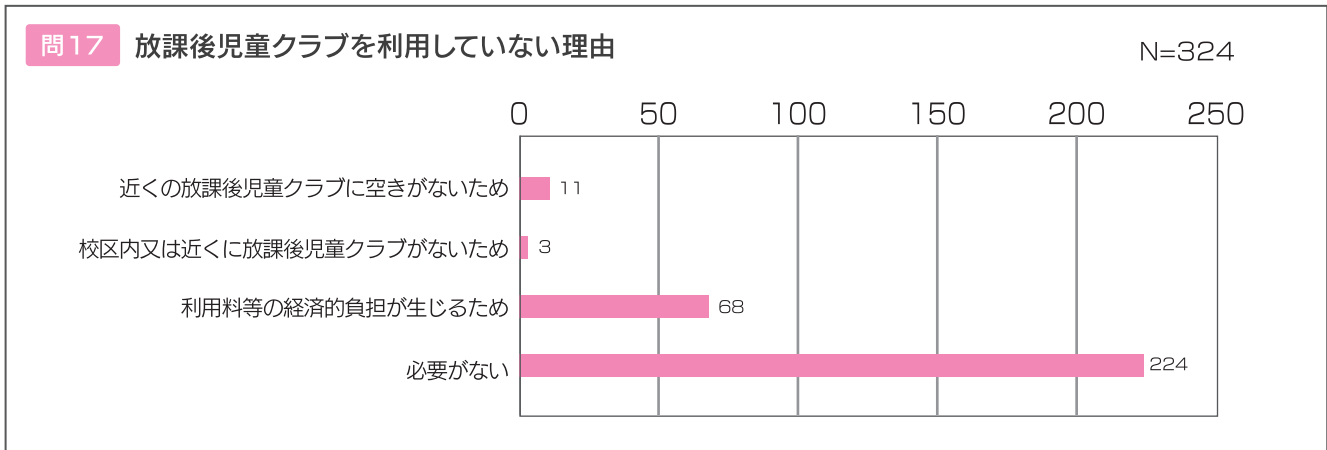


1週間あたりの日数

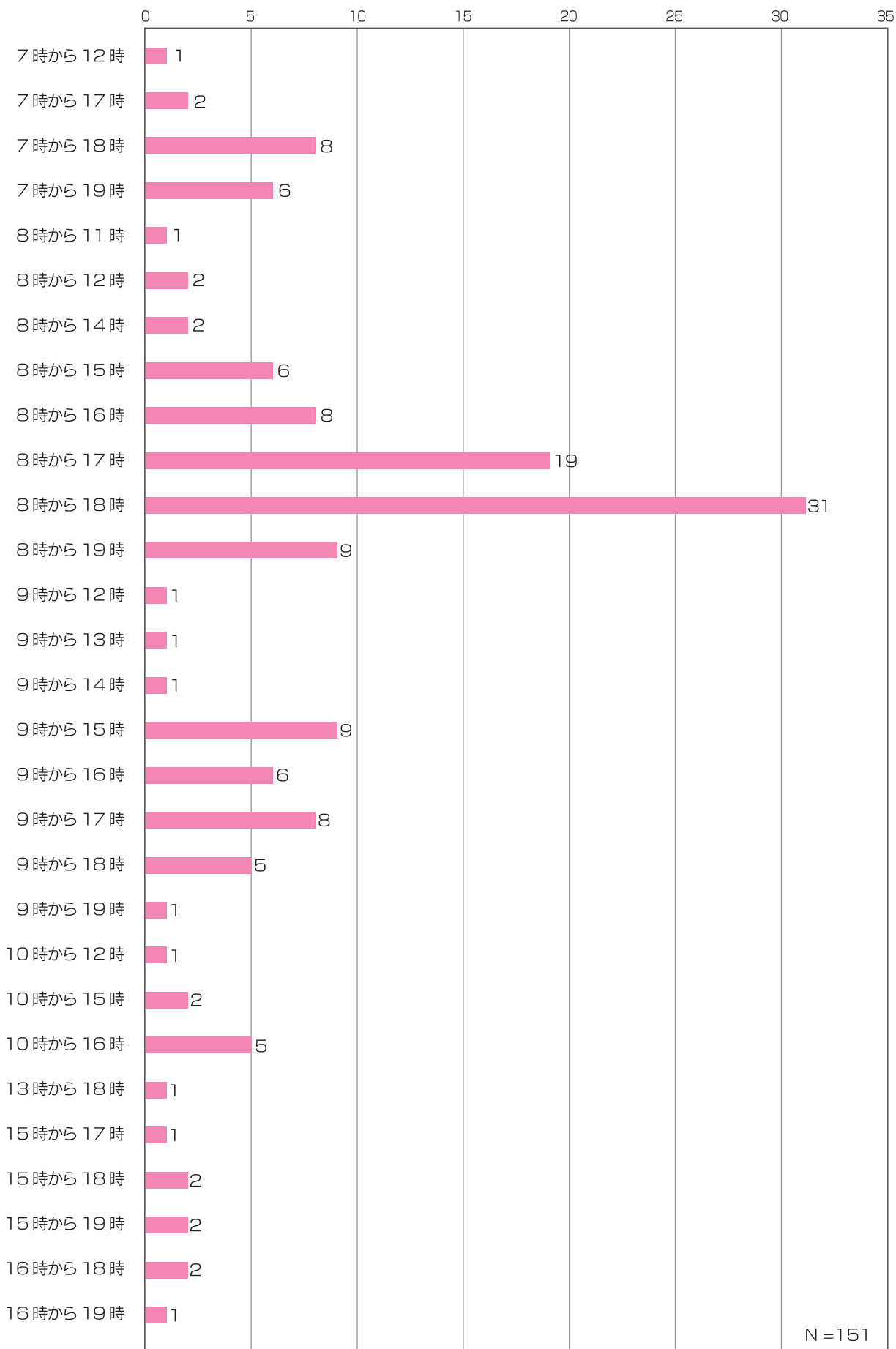




現在、放課後児童クラブを利用していない方のみ回答



問18 利用したい時間帯

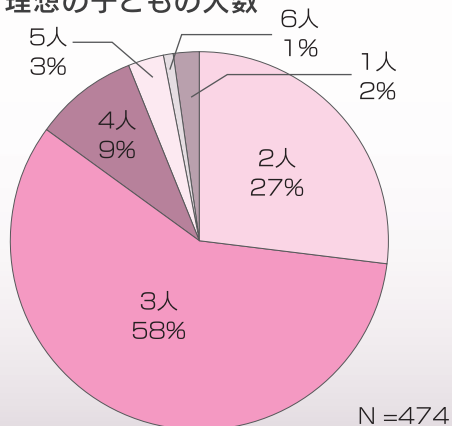


5 理想の子ども数について

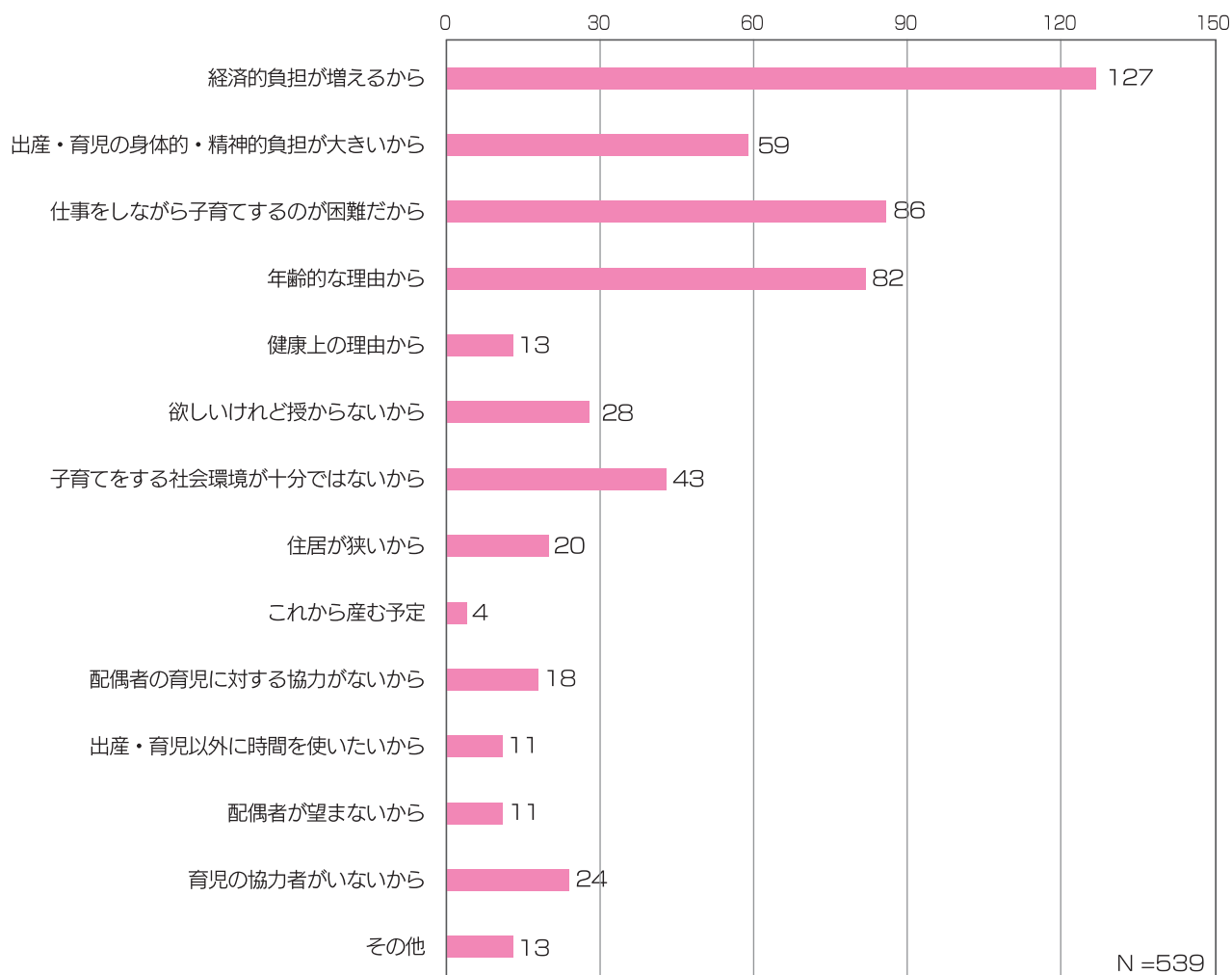
【概況】

- ・「3人」が58%と最も多く、次いで「2人」「4人」の順となった。
- ・理想より少ない理由としては、経済的負担が最も多く、次いで、仕事との両立や年齢的な理由などが多かった。

問19 理想の子ども数



問19-1 実際の子どもの数が理想の子どもの数より少ない理由

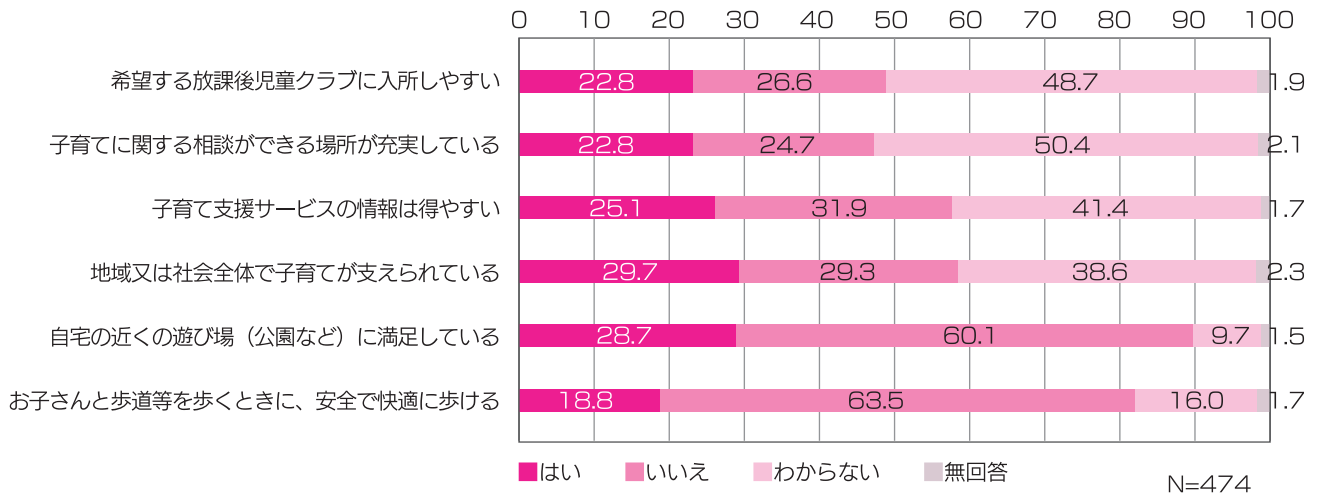


6 子育てに関する満足度などについて

【概況】

- ・自宅近くの遊び場や歩道など、ハード面についての満足度が低かった。また、子育てに関する情報が得にくいと考えている人も32%いた。

問20 子育ての環境や支援への満足度



問21 子育てに関しての意見

※自由意見を一部抜粋しています。

- ・平日に家で遊ぶことが多いので、近所に子どもたちが自由に遊べる公園があればよいと思う。
- ・放課後児童クラブについて、冬休み・夏休みに利用できるクラブを増やしてほしい。
- ・3人目以上の子どもへの支援として、保育料の無償化、放課後児童クラブの利用料補助、病児保育の拡大などを充実してほしい。
- ・大村市は子育てにはいい場所ですが、その良さが市内外にまだまだ伝わっていない気がする。制度の周知を図ってほしい。
- ・中学生までの医療費の補助や中学校給食の開始など、とても感謝している。
- ・予防接種は、すべて無料にしてほしい。
- ・発達障がいの子どもや青少年に対しての情報発信の強化や相談しやすい環境づくりを行ってほしい。
- ・市外から転居してきたが、通学路の歩道がなかったり、あっても狭く感じるため、整備してほしい。
- ・児童館を整備してほしい。1時間だけでも子どもを過ごさせることができれば親も助かると思う。
- ・以前住んでいた所と比べ避難訓練の回数が少ない。回数を増やしてもよいのではないかなと思う。

2 大村市内の教育・保育施設等

(令和2年2月現在)

《教育・保育施設》

○は一時預かり実施園

◇は預かり実施園

※は延長保育実施園

認可保育所（園）

施設名		定員数	1号	2号	3号	地域
たけまつ保育園	○※	70	—	45	25	北
松原保育園	○※	60	—	34	26	北
妙宣寺保育園	※	80	—	50	30	北
わかば保育園	※	120	—	58	62	北
植松保育園	○※	180	—	105	75	中
かしのき保育園	※	30	—	22	8	中
萱瀬保育園	○※	60	—	40	20	中
桜馬場保育園	※	110	—	65	45	中
新城保育園	※	130	—	70	60	中
諏訪保育園	○※	90	—	50	40	中
ふるまち保育園	※	90	—	45	45	中
おひさま保育園	※	30	—	17	13	南
かたまち保育園	※	110	—	57	53	南
久原保育園	※	60	—	36	24	南
サラナ保育園	※	35	—	12	23	南
三城保育所【公立】	※	90	—	50	40	南
千木の森やまびこ保育園	○※	20	—	15	5	南
常盤保育園	○※	155	—	87	68	南
ふれり恵光保育園	※	40	—	19	21	南
三浦保育園	○※	60	—	33	27	南
ゆりかご保育園	○※	90	—	55	35	南

認定こども園

施設名		定員数	1号	2号	3号	地域
かめりあ こども園	◇※	210	90	66	54	北
くじら認定こども園	◇※	90	10	45	35	北
認定こども園昊天宮保育園	○◇※	250	90	90	70	北
認定こども園たんぼぼ園	◇※	125	25	51	49	北
フォルテ認定こども園	◇※	80	10	27	43	北
いけだ認定こども園	◇※	89	9	60	20	中
認定こども園キッズランド	◇※	57	6	36	15	中
放虎原こども園【公立】	◇※	165	70	53	42	中
認定こども園すずたこども園	◇※	115	15	60	40	南
ひまわり認定こども園	○◇※	131	21	60	50	南
認定こども園わんぱくはうす	◇※	105	15	48	42	南

地域型保育事業

施設名		定員数	1号	2号	3号	地域
小規模保育園キッズホーム	※	12	—	—	12	北
たけまつ ちっち保育園		19	—	—	19	北
ちぎのもり保育園	※	19	—	—	19	北
小規模保育所つぼみのおうち	※	12	—	—	12	北
小規模保育所とみのはら保育園	○※	12	—	—	12	北
小規模保育園いるか		12	—	—	12	中
かめりあ三城第二保育園		19	—	—	19	中
かめりあ三城第三保育園	※	12	—	—	12	中
かめりあ保育園		12	—	—	12	中
小規模保育園このみ	※	18	—	—	18	中
院内保育園さくら保育園	※	14	—	—	14	中
ちいさな保育園エミー	※	19	—	—	19	中
ちいさな保育園マーナ		12	—	—	12	中
小規模保育園どんぐり	※	12	—	—	12	中
小規模保育園まつぼっくり	※	12	—	—	12	中
かめりあ三城保育園		19	—	—	19	南
すこやか保育園		12	—	—	12	南
のびやか保育園		12	—	—	12	南

幼稚園

施設名	定員数	1号	2号	3号	地域
福重幼稚園【公立】	30	30	—	—	北
大村聖母幼稚園 ◇	180	180	—	—	中
西大村幼稚園【公立】	100	100	—	—	中
大村幼稚園【公立】	100	100	—	—	南
向陽幼稚園 ◇	315	315	—	—	南
長崎星美幼稚園 ◇	260	260	—	—	南

認可外保育施設

施設名	定員数	1号	2号	3号	地域
大村聖母保育事業	36	0	36	0	中
このみ保育園 ※	18	0	0	18	中
向陽スマイリー保育園 ○	24	0	0	24	南
長崎星美保育事業	18	0	0	18	南

事業所内保育事業

施設名	定員数	1号	2号	3号	地域
ヤクルト大村サービスセンター ※	27	0	15	12	中
ヤクルト諫早サービスセンター ※	35	0	18	17	南
くるみ保育所 ※	50	0	20	30	南

企業主導型保育事業

施設名	定員数	1号	2号	3号	地域
大川田キッズ保育園	5	0	1	4	北
おろぐち保育園 ※	10	0	7	3	北
星のおか保育園	30	0	15	15	南
みなみの保育園 ※	6	0	2	4	南

《放課後児童クラブ》

父母の会

クラブ名	定員数	地域
いちご児童クラブ	43	北
くさぶえ児童クラブ	43	北
くすのき児童クラブ	55	中
ことら児童クラブ	40	中
さくらんぼ児童クラブ	40	中
西大村遊学館	45	中
福重児童クラブ	43	北
ぶどう児童クラブ	24	中
放課後児童クラブ GoodSmile	35	中
ほうこ児童クラブ	45	中
らっこ児童クラブ	40	中
うきうき青空児童クラブ	40	南
キノコ児童クラブ	40	南
三城児童クラブ	38	南
三城第二児童クラブ	35	南
とまと児童クラブ	40	南
放課後児童クラブ プチとまと	42	南
放課後児童クラブ FRIENDS	37	南

NPO法人

クラブ名	定員数	地域
学童クラブ いろり端きっず	40	北
学童クラブ いろり端きっず二番館	10	北
スポキッズ学童クラブ 富の原校	35	北
スポキッズ学童クラブ 古賀島校	24	中
スポキッズ学童クラブ 松並校	40	中
おひさま学童クラブ	25	南

社会福祉法人

クラブ名	定員数	地域
かめりあ児童クラブA	40	北
かめりあ児童クラブB	40	北
かめりあ児童クラブC	40	北
かめりあ原口児童クラブ	40	北
昊天宮学童保育 にんじんクラブ	40	北
昊天宮学童保育 ゆめっこクラブ	40	北
たけまつ学童げんきクラブ	23	北
たけまつ学童なかよしクラブ	40	北
寺子屋とみのはら はあとクラブ	40	北
寺子屋とみのはら よつばクラブ	40	北
二丁目学童クラブ 竹っ子	40	北
二丁目学童クラブ 富っ子	40	北
妙宣寺学童保育寺子屋	44	北
植松ニコピンクラブ	50	中
学童保育すわん子クラブ	55	中
かめりあ三城児童クラブ	40	南
学童保育鈴っ子クラブ	40	南
学童保育第2鈴っ子クラブ	40	南
ときわ学童クラブ1	70	南
ときわ学童クラブ2	70	南
ときわ学童クラブ3	19	南
ひまわり児童クラブA	40	南
ひまわり児童クラブB	40	南
ひまわり児童クラブC	40	南
第1三浦学童クラブ	30	南
第2三浦学童クラブ	30	南
学童クラブゆりかご	60	南

《地域子育て支援センター》

施設名	地域
COM E かめ広場(かめりあこども園)	北
こぱん(認定こども園たんぽぽ園)	北
にこにこ子育てサロン(認定こども園昊天宮保育園)	北
メロディー(フォルテ認定こども園)	北
なつみかん【公立】(放虎原こども園)	中
ライオンキッズ(植松保育園)	中
こども未来館おおむらんど【公立】(プラザおおむら)	南
ひまわりキッズ(ひまわり認定こども園)	南
まーぶる【公立】(三城保育所)	南
わいわいらんど(認定こども園すずたこども園)	南
わっはっはのへや(認定こども園わんぱくはうす)	南

《病児・病後児保育》

施設名	対象児	地域
さわ小児科	0歳～小学6年生	北
野口内科こども医院		中
田川小児科		南

《ショートステイ・トワイライトステイ事業》

施設名	対象児	地域
大村子供の家	2歳～17歳	北
光と緑の園	0歳～17歳	中
こころホーム	7歳～17歳 (男児のみ)	中

3 大村市子ども・子育て会議

(1) 大村市子ども・子育て会議条例

平成25年9月26日
条例第25号

(設置)

第1条 子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号。以下「法」という。)第77条第1項の規定に基づき、大村市子ども・子育て会議(以下「子ども・子育て会議」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 子ども・子育て会議は、法第77条第1項各号に掲げる事務を処理するものとする。

(組織)

第3条 子ども・子育て会議は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

(1)子ども(法第6条第1項に規定する子どもをいう。)の保護者(同条第2項に規定する保護者をいう。)

(2)子ども・子育て支援(法第7条第1項に規定する子ども・子育て支援をいう。以下同じ。)に関する事業に従事する者

(3)子ども・子育て支援に関し学識経験のある者

(4)前3号に掲げる者のほか、市長が適当と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第5条 子ども・子育て会議に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により選任する。

3 会長は、会務を総理し、子ども・子育て会議を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 子ども・子育て会議は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

2 子ども・子育て会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

3 子ども・子育て会議は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第7条 子ども・子育て会議の庶務は、こども未来部において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、子ども・子育て会議の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

《参考》

○大村市子ども・子育て会議条例第2条に規定する所掌事務について

市は、子ども・子育て会議から、次の事項について意見を求めることとしています。

1 特定教育・保育施設の利用定員を定めようとするとき

2 特定地域型保育事業の利用定員を定めようとするとき

3 子ども・子育て支援プランを定めようとするとき、又は変更しようとするとき

4 本市における子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関し、必要な事項及び当該施策の実施状況

(2) 委員名簿（令和2年3月現在）

NO.	氏名	団体名
1	井手 幹也	青年会議所 監事
2	烏山 雅之	私立幼稚園連絡協議会 会長
3	川本 良美	連合長崎大東・壱岐・対馬地域協議会 事務局長
4	桐山 絵里奈	学童保育連合会 事務局長 (令和元年10月28日までは吉田早苗)
5	香田 公裕	校長会 会長
6	古賀 義	道の尾病院臨床心理士(元長崎国際大学教授)
7	澤 芳弘	医師会 副会長
8	田中 洋子	長崎こども・女性・障害者支援センター こども・女性支援部長
9	中島 寿子	民生委員児童委員協議会連合会 主任児童委員
10	中崎 鈴香	公募委員 (令和元年10月28日までは阿野ちはる)
11	中村 慶治	青少年健全育成協議会 会長
12	廣瀬 昌浩	保育会 会長
13	松添 真規子	PTA連合会 母親部会部長 (令和元年10月28日までは山本のり子)
14	溝口 磨知子	公募委員 (令和元年10月28日までは福田亜矢)
15	山下 浩司	社会福祉協議会 事務局次長

令和2年度～令和6年度

おおむら子ども・子育て支援プラン

発行日／令和2年3月

発行／大村市

編集／大村市 こども未来部 こども政策課

〒856-0832 長崎県大村市本町 413 番地 2

TEL 0957-54-9100 / FAX 0957-54-9174

